

タイムムズ

林慎一郎

登場人物

男

ソルバルウに乗る男、立体駐車場の混雑を回避して来た男、看守、未来のコンセプトカーたち、アポを待つ先輩と後輩、西部の荒くれ者たち・小林旭・バズライトイヤー・つけ麺に挑戦する男、碁を打つ翁たち、大盤解説するプロ棋士（男）、お通夜に来た男：

女

ソルバルウ、フェイクエンジェルズ（フブキ、エミ、イズミ、クリス）、自動車ショー司会の女、スーパーカートリオ、カルロスポンセ、ウグイス嬢、マダムスルーフットスー、月に一度の美容院に来た女、大盤解説するプロ棋士（女）、駐車場発券機の声、スマートフォンの声、「国性爺合戦」の登場人物たち：

コインパーキング。

その区切られたエリアの一角に男が立つ。

「太陽の鳥」

男は必死だ。

8方向にひねり、空を撃ち、地上を狙う。空隙を縫って汗ばんだ手も太ももに拭い、ボタンを叩く音が響き続ける。

タンタタンタンタン。タンタタンタンタン。

女がやってくる。

「明日」

「宇宙の片隅で男はカンストを目指す。」

ソルバルウ 私の名はソルバルウ。戦闘機です。私は終わりのときを待っていました。

その日、彼は五時間に渡って、私に乗り続けていました。ゼビウス。

彼は、実に四半世紀、そのシューティングゲームと共にありました。格ゲーや落ちゲーが全盛の時代にも、飛躍的に進化したROMがいくらグラフィカルな表現を可能にしても、彼は私に乗り続けてきました。

ゼビウスとはゼビ語。地球では「第四の惑星」を意味する言葉。

かつて地球に栄えた超古代文明が作り上げた超知的コンピューター「ガンプ」。

「人類の恒久的な繁栄のために力を尽くす」という目的で作られたガンプは、いつの頃からか、「自らが人類を管理下に置くことよってのみ、人類の恒久的な繁栄はもたらされる」と考えるようになったのでした。

折しも到来した氷河期を利用し、ガンプは自らを創りだした文明を滅ぼすと、惑星ゼビウスに潜伏したのです。

そして西暦2000年、惑星直列、ゼビ語でファードラウトの日、新たな人類を支配下に置くため地球に侵略を開始したのでした。

地球を守るため、彼は、私、ソルバルウに乗り込み、西暦2012年の今日も戦うのです。

この四半世紀、街のゲームセンターには格ゲーや落ちゲーの筐体が増え、ゼビウスを入れた筐体はひっそりと姿を消していきました。

しかし、彼は必ず私を見つけ出しました。各駅しか止まらない小さな駅前の一角に。ショッピングセンターの二階の片隅に。彼はゼビウスの筐体を見つけて出しては、コインを取り出し、私に乗り込みます。

一度、乗り込めば長い搭乗になりました。

ゼビウスには終わりという概念がありません。16に分かれたエリアを通過すると、また最初のエリアにループし、また新たなパターンで襲ってくる敵と戦いつづければならないのです。

しかし、その戦いにも一応の終わりがありました。彼が目指すのはいつもそこでした。

それは予めプログラムが予測した限界を、人間が上回ったとき、訪れるのです。

カンスト。

カウンターストップ。敵を撃ち落とし、要塞を破壊し、積み上げた得点が99万9990点に届いたとき、ついにプログラムは得点を数えることをやめるのです。この境地にいたるのは並大抵のことではありません。シューティングゲームをプレイするシューターたちは、敵の出現パターンを覚え自らの攻撃パターンを作り出し攻略していきます。

ところがゼビウスはこの時代のゲームには珍しく、敵の出現パターンにいくつかのテーブルがあり、シューターの戦い方に応じてそのテーブルを組み替えてくるのでした。

かつては、彼のように数多くのシューターがカンストを目指して、私に乗り込みました。しかし、奇しくもその行為が街からゼビウスを消し去るトリガーになったことは否めないのです。

カンストを達成するまでには平均して6時間。仮に24時間のゲームセンターがあったとして、一日4プレイ。1プレイ100円とすれば一日の売り上げ400円。

これは大きな問題となりました。そしてゼビウス以降のシューティングゲームには、クリアそしてエンディングという概念が必須となったのです。

ひどいものでした。街からゼビウスが次々と消えました。

彼は街をさまよいました。レバーとボタンの効きが悪くなった筐体にひっそりと入れられたゼビウスを求めて。

そしてその日、偶然にもショッピングセンターの片隅でゼビウスを見つけたのでした。午後3時を少し過ぎた頃でした。彼はその日、十時からコンビニエンスストアでアルバイトがありました。

男 間に合う。

ソルバルウ 間に合う。彼は100円をスロットに投げ込みました。

彼は、もう数えることも無駄なほどカンストを達成して来ました。しかし、

常にその行く手を阻む最大の敵がありました。

尿意です。

6時間のプレイ中、いつ尿意が訪れるのか、敵の出現パターンを完璧に把握した彼でさえ、自らの尿意のパターンを把握するのは至難の業でした。

始める前にトイレに行く。これは当たり前としても、そこから排泄すべき水分が膀胱に蓄積するのにどれだけの時間を要するのか。それは神秘でした。

男 メモリーを増やしたい。

ソルバルウ 膀胱の。深夜のファミリーマートで彼は何度も思い悩みました。

そして、ついに一つの答えにたどりついたのです。

私は、最初の2万点を獲得したとき、そして以降は6万点を獲得するたびに1アップします。1アップするたびに画面の一番下には、私の命が列びます。ほとんどミスをすることのない彼のおかげで、得点が200万点を超えるころには、私はいったい自分の命が残っていくのかわからないほどでした。そうです。彼は気づいたので。私のこの無駄な命を犠牲にできることを。あの日、敵の攻撃がもっとも激しくなるエリア16にさしかかったとき、彼はやにわに立ち上がりました。トイレへ向かったのです。尿意を催していないにも関わらず、彼は小便器の前に立つと、排尿のシミュレーションを行い、石けんで手を洗いハンカチでぬぐうと戻りました。

6機でした。

丁度、6つの命が無抵抗のまま消費されていました。

男 いける。

ソルバルウ いける。彼は思わず声を出してつぶやきました。敵の激しい攻撃という条件で6機。もしダッシュで行ったなら、もっと少なくてすんだはずだ、と。

それからというもの、彼は、ゼビウスを見つけ最初の放尿をすませると、トイレと筐体の距離を歩測することを常とするようになりました。

しかし、なぜかその日、その日だけはいつも通りというわけには行かなかったのです。

ゼビウスの筐体は、ゲームコーナーの誰も見向きをしない薄暗い隅に追いやられていました。しかし追いやられた果ては、彼にとってはベストポジション

ンといえました。すぐ左にトイレへ通じるドアがあつたのです。

カンストまでの長い道のり、彼は二度用を足しました。消費した私の命は、2つずつ合計4つ。やがて、スコアは990万点を超えました。終わりは間もなくでした。

ここで一つ付け加えておかなければなりません。ゼビウスのカンストが、なぜここまでシューターたちを魅了するのか、それにはもう一つの理由がありました。

それは、まさに神のイタズラ、偶然が生み出した宇宙の祝福ともいえる現象でした。

それは私の命が増える仕組みにありました。プログラムは私の命が増えるたび、次に増える得点を計算し記憶します。つまり、6万点で1アップしたとき、次の1アップは12万点で行う。と記憶するのです。そして、実に167回の1アップを経て得点は996万点に達します。

このとき、プログラムは996万点に6万点を足そうとします。ところが、その値はカウンターストップする999万9990点を超えてしまうのです。自らの能力の限界を自ら超えようとしたとき、プログラムはある決定的な判断ミスを犯します。

それは、得点のたびに1アップするという判断でした。

996万点を超えた瞬間、得点、つまり敵を破壊するたびに私の命がひとつ増えるという現象が発生します。

終わりが迫る刹那、敵を破壊するたびに、私に新しい命を与えることを知らせるチャイムが鳴り響きます。

それはまるで、ここまでの辛く長い戦いを労う凱旋のファンファーレのように、間もなく訪れる終わりのときを告げ知らせる妖精の歌声のように。

法悦。そう呼んでも決して間違いではないでしょう。

その日もついにその瞬間が訪れました。彼は肩の力を抜き、レバーを柔らかく握り、敵を殲滅しながら凱旋のファンファーレを奏で始めました。

その時でした。突然、彼を今まで感じたことのない尿意が襲いました。今までのこのタイミングで襲って来たことは、ただの一度もなかったのに。

しかし彼はボタンを離そうとはしませんでした。トイレはすぐ隣にあるとい

うのに。たった二機を消費するだけで、また戻ってこられるというのに。しかも、その二機はいまやたった二発の弾を撃ち込むだけで手に入れられるというのに。

ファンファーレにまぎれてはいますが、敵の攻撃も激しさを増します。画面をうめつくすほどの弾幕をかわしきったと思ったその瞬間。彼は漏らししました。

尿は破れかけた椅子のすきまからはみ出したスポンジに、じつくりと染み渡っていきました。彼は撃つ手をやめません。恐ろしいほどの快感は彼に恍惚の笑みをもたらしていました。いつのまにか、カウンターは999万9990点を指したままストップしていました。

彼が敵を倒すたび、ファンファーレはまだ鳴り続けています。

大きく彼の体が震えました。

彼はしばし手を止めたあと、二発、弾を発射すると、ボタンからゆっくりと手を離しました。ファンファーレが二度、鳴り響きました。

彼は黙って、考えることをやめたプログラムが戦いをやめない様子を見守りました。

私は次々と撃墜されていきました。

私の名は、ソルバルウ。地球の言葉で「太陽の鳥」。

やがて、画面が変わりました。

男（何か入力する）タンタンタンタン。

ソルバルウ 6時間、100円。（客に）安心しなさい。もうこんなに長い場面はありません。この時間が、一番長く、そしてもっとも安い時間です。

男、去った。ソルバルウは静止した。

女の声 「駐車券をおとりください。」

◎ショッピングセンター立体駐車場の混雑を回避した日

男 駐車場あるのは知ってるんですけどね。すごいでしょ、混んでて。建物の周りにとぐる巻くみたいに列んでるでしょ。城攻めかつ！てのね、まったく。

あれじゃ店入るの、いつになんのかわかんないでしょ。子供できるまえだったらね、嫁だけ、ほら、さき店入っとけよ、みたいなのができたんですけど。混んでる中、子供抱いて買い物なんかできるわけないっていうからね。こっちのパーキング回って来たんですよ。ま、せいぜい二、三時間のもんでしよう。2000円もしないでしょ。クソ暑い中長々列んで喧嘩になるくらいなら安いもんですよ。

立体駐車場入ってからが長いんすよね。大体、喧嘩始まるの立駐入ってからなんですよ。さんざん待ってやっと入って、薄暗いでしょ、独特の匂いするでしょ。駐車券とんの手間どってる奴いるでしょう。おまえ、もっと寄せとけよ、手え届く距離計算しろよ、おまえブレーキ踏みすぎなんだよ、おまえハザードたくなら、もっと早くしろよ、後ろつまってつからさがれねえじゃねえか。おい、ガキ走んな、ひくぞつって。イライラしてきて、そういうタイミングで嫁が「あ、危ない！」とか言ったら、ブチイですよ。脳内クラクション、目からハザード、カッチンカッチンですよ。あれ、ブレーキの赤いのチカチカすんのばっかり見ると、なんかあるんじゃないですか。精神的な効果。ドップラーとかプラシーボとか、そういうのじゃないですか。

あ、子供寝ちゃったんですよ。で、結局私留守番なんですよ。さっきまで立体駐車場並ぶるとき早く入りたい入りたいって騒いでたのにね、ついなら寝てるんですよ。起こして連れて行くこうっていったんですけどね、どうせ後で行きたかったって騒ぐんだから。結局、冷房かけて停めてたら、となりの家からアイドリングやめてくださいって。子供殺す気かってね。仕方ないんで、そのファミマで時間潰そうかと思って。まあ、起きたら起きたで適当にアイスでも食わして、ぶらぶら嫁と合流しますよ。

「PARK」

「昨日」

「世界の始まりを担う罪深き *bitch* たちが逃亡を企てる」

女（フブキ）　　ここは「PARK」。「PARK」という言葉はそもそも…つと、そろそろ長いセリフにも飽きたでしょうし、これは後で携帯電話にでも

聞いてください。

「P A R Kの語源ってなに？」

スマホ 「モトモトハ、カコワレタバシヨトイウイミデ、エライヒトガ、カリトカヲシテアソブバシヨヲ、イッパンジンガタチイレナイヨウニスルタメニ、カコツタコトガハジマリデス。」

女 これからは時代は脳ミソにスマホ接続の方向ですね。あの宇宙に詳しいホーキング博士、あの人インテル入ってるから、ほったの動き感知して文字入力できるでしょう。そのうち皆がそうなれば、もう誰も人差し指で画面さするの気持ち悪いとかいわないですよ。「何？この車両全員、顔面神経痛！？」みたいなことはあるでしょうけど。でも、同じ疑問持った人が全員同じ答えにたどり着くっていうのはちよつとつまらないですね。

すいません、結局長々と。

とにかくここは囲われた場所。「P A R K」です。

その日、この「P A R K」には、大勢の帰宅困難者たちが群れていました。私もその一人です。帰る場所がない、帰る方法がない、帰りたくない、人の事情はよくわかりませんが、「帰してもらえない」という事情は同じでした。だいぶ長いこと待たされるうちに、私も自分の事情はいつのまにかすっかり忘れてしまって、覚えているのは「帰してもらえない」ってことだけでした。私たちは、この「P A R K」で、家に帰してもらおうときを待ち続けていたのです。

警棒をもった男が現れる。看守のようだ。公園なので看守というのが正しいかどうか分からないが、看守としておこう。

看守 もうね、この人達、今は帰るなつつうのに、帰るつつうんですよ。あぶねえから、ここにいろつつうのに帰りたいがるんですよ。困ったもんです。だからね、厳しく取り締まるんです。カンカカンカンカン。カンカカンカンカン…。

彼は警棒であるのかわからないのかわからないが、牢の格子を警棒でなぞり

ながら往復している。

人々は入れ替わり立ち替わりやってくる。

誰かが去ると、ややあってまた誰かがやってくる。

やがて四人の女。

「明日、暑くなるって。昨日言ってたよ。」

「そうか、今日暑くなるんだね。」

「違うよ、明日暑くなるんだよ。」

「暑くなるって、昨日言ってたんでしょ。」

「そうだよ、明日、暑くなるんだよ。」

「昨日の明日は今日のことでしょ。」

「今日は、明日じゃないよ。」

「明日は昨日の今日なんだよ。」

「明日は急いでもこないよ。待つんだよ。」

女（イズミ） 私たちは *bitch* でした。

bitch 中の *bitch*、*Queen of bitch*、*bitch*、*bitcher*、*bitchest*。 *bitch* と呼ぶのはばかられるほどの *bitch*、*ビッチ*、*ビッチ*、すべての情報の最小単位、チンコロ小さい「*bit*」でした。

看守 カンカカンカンカン。

女（エミ） *bitch* が女に対する蔑称とするなら、男のそれはなんでしょう。

お聞きになったことがあるかもしれません。サノバビッチ。 *son of a bitch*。つまり *bitch* の息子！であります。

つまり、サノバビッチより先にビッチあり。一番始めに罪を犯し男を誘惑するのはいつだって女だということです。つまり、この P A R K は今、大勢の帰宅困難な *bitch* どもを抱え、すべての始まりの牢獄に姿を変えていました。あれは、もう一昔も前のことになります。移民の子であったフランス人ジネディーヌ・ジダンワールドカップの優勝を争うピッチの上で、イタリア人にビッチの息子と罵られ、逆上しパチキをかまし退場になりました。

ここで注目すべきは、彼が禿げていたという事実です。多くの男性は、彼の

ようなカツパ状のハゲに少なからずコンプレックスを抱くはずで。しかし母親をビッチと罵られた屈辱は、彼をそのカツパハゲを武器に変えるほどの怒りに駆り立てたのです。

これは何も外国人に限ったことではありません。日本人である我々も、このへその奥から突き上げるような怒りのマグマを感じる屈辱を味わった経験はあるのではないのでしょうか？ 思い出してください。幼い日、あいつに罵られたあの言葉。

クリス 「お前の母ちゃんでーべーそ。」

看守 「お前の母ちゃんでーべーそ。」 ふん、ビッチども。なんだ、コノヤロこっちみんな。

女囚たち （思い思いに） はい。

看守 なんだ、その目は。

女囚たち はい。

看守 家に帰ろうなんて思うなよ。

女囚たち はい。

看守 臭う、臭うぞ。

女囚たち はい。

看守 逃げる女は決まって臭い。

女囚たち はい。

看守 和子も直子も臭かった。

女囚たち 私たち、うちに帰りたいんです。

看守 （鼻で笑い）無理だな。おまえらに帰れるわけがない。

女囚たち 帰れます。

看守 その自信はなんだ。その自信の理由を言ってみろ。

女囚たち 私たちは上手だからです。

看守 上手。

女囚たち はい！ 私たちは上手です。

看守 言ってみろ！ お前たちは何が上手だ！

女囚（フブキ） 料理上手！

看守 もこみち！

女囚（エミ） 床上手！

看守 徳永！

女囚（イズミ） ひとり上手！

看守 みゆき！

女囚たち 私たち、うちに帰りたいです。

看守 駄目だ。

女囚たち なぜですか。

看守 お前には帰る家がないからだ。

女囚（フブキ） 私、うちに帰りたいです。

看守 駄目だ。

女囚（フブキ） なぜですか。

看守 お前には帰る家がないからだ。

女囚（エミ） 私、うちに帰りたいです。

看守 駄目だ。

女囚（エミ） なぜですか。

看守 お前の家は大変なことになっているからだ。

女囚（イズミ） 私、うちに帰りたいです。

看守 駄目だ。

女囚（イズミ） なぜですか。

看守 家に帰る方法がないからだ。

女囚（クリス） 私、うちに帰りたいです。

看守 駄目だ。

女囚（クリス） なぜですか。

看守 お前を待っている人がいないからだ。

女囚たち お前の母ちゃんですーべーそ！

看守 （カッとして）でべそじゃねえよ。オレの母ちゃんですべそじゃねえよ。

でべそじゃねえって。

女囚（クリス） 彼の母ちゃんがでべそであったかどうか。それは確かめるす

べはありません。このあと私たちは Jailbreak します。Jailbreak とは、例

えばアップル社の製品において、認可したソフトウェア以外を使用できなく

するためにアップル社がかけた制限を特定のソフトウェアを使って解除する行為のことですが、もともとの意味は脱獄行為のことです。

彼の母ちゃんがでべそであったかどうか。それは確かめるすべはありません。看守 でべそじゃねえよ。でべそじゃねえよ。

女囚（フブキ） こういう場合、看守を誘惑するのがもつとも古典的な方法です。つまり生足を突き出せばいいのです。しかし、私たちは少しだけアレنجを加えました。

女囚たち、生足をつきだすと見せかけて、生へそをつきだす。

女囚（フブキ） 生へそです。

女囚たち ウツフーン。けえいむかあんさぁーん。

看守 かあちゃーん！

女囚（フブキ） さあ、旅の始まりです。

女囚たち逃げ去る。

看守は静止する。

「女囚コンパニオン」

「明日―」

「輝く未来を象徴する夢のスーパーカーたちが登場する。」

司会の女 地球のみなさん！こんばんはー！宇宙のみなさん！えんばんはー！今年も始まりました「東京モーターショー」、ここ東京ビックサイトには夢のスーパーカーが大集合！

今年のテーマは「我々は如何にして排気ガスに悩まされながら、排気量を自慢するか！」

産業革命初期、自走式の大砲から始まった自動車文化。モータリゼーション

は景気のあかし、今年もメインステージには注目の車が続々登場！見逃せません！

メインステージには車が次々登場し、コンパニオンがポーズをキメル。群がる大衆。

司会の女 さて、トップを飾りますのは我が国が誇る自動車の巨人【トヨタ】よりハイブリッドカー、「16代目 プリウス」です！

16代目プリウスがくる。

「自動車ショー歌」by 小林旭なんかも流れてくる。

エコな車 したにー！したにー！

観衆 まってました！16代目。

司会の女 代々、ハイブリッドカーはそのエンジンの静音性から、背後からの接近に非常に気づきにくいことが問題視されておりました。その反省を踏まえ、16代目は速度が10キロ以下になると、自動的に大声で叫ぶ仕様になっております。

エコな車 したにー！したにー！

司会の女 それではお願いします！

エコな車 (まるで立候補者のようにたすきをかけて) ワタクシ、エコカーの草分けとして登場いたしました初代からの遺志を受け継ぎ、このたび究極のエコの実現をお約束いたします。ワタクシは、都市を走り抜けながら、その辺のゴミを拾い集めて燃料化したします。空きカン、吸い殻、雑誌、犬の糞から、おっさんのタンにいたるまで吸い上げ、瞬時に原子レベルに分解、体内に搭載しました専用の絶対安全な反応炉で核融合。それをエンジンに伝えることが可能です。発生した排気ガスは一旦車内に蓄積、自宅ガレージに到着後、自動的に地中深く安全に地層処分いたします。

コンパニオン 16代目は絶対安全です！

観衆 待ってました！16代目！

司会の女 自家用セダンの美しいフォルムと高い居住性を維持しつつ、どこもなくパッカー車の荒々しさと野性的な匂いを感じさせるデザインは、子供にも大人気。ありがとうございます。

エコな車 (退場) したにー! したにー!

司会の女 つづきましては、北欧が産んだ究極の *do it yourself* カー。イケアより出展は、カスタマー自らが持ち帰り、組立て、設置することでコストを究極まで削減。洗練されたデザインで、車も暮らしもシンプルに統一いたします。

シンプルな車がくる。

シンプルな車 私はあなたに特別な工具を用意しろなんて一切いわない。このシンプルな組立説明書さえ守ってくれたら、たった103の行程で私を手に入れられる。夢みたい話だね。103っていうのは、この国の憲法と同じ数。ほら、簡単だろ。

組立前の私はとってもコンパクト、車で店に来てくれたら簡単に自宅まで持ち帰れる。

休みの日しか私を必要としなくて構わない。そんなサンデードライバーには、部品のまま置いておいて、お出かけ前にパッと組み立てるだけ。もちろん車庫証明なんかいらないんだ。

コンパクトン ひとりでできた!

司会の女 ありがとうございます。続きましてはソフトバンクよりスマホカーの登場です。外見、内装はほぼ普通の車と同じですが、全ての操作系をタッチパネル化したことで指先一つで直感的な運転が可能です。

割と普通の車がくる。

割と普通の車 ダブルタップしていただくとドアが開きます。シートをピンチすることで角度を調節。キーをタップしてエンジン始動、アクセルをホールドで前進します。方向転換は左右にハンドルをフリックします。ブレーキ操

作はブレーキペダルをタッチアンドホールド。方向指示器やワイパーはレバーをタップ。エアコン温度調節はつまみをスワイプ。カーオーディオにメディアをドラッグアンドドロップすることで音楽を再生。

コンパニオン 革命的で魔法のような車。しかも信じられない価格で。

司会の女 ありがとうございます。さあ、続いての登場は米国最大手ゼネラル・モーターズからの出展です。いよいよ米国もエコを中心にした自動車開発に着手。しかもこちらは犯罪抑止というユニークな観点からのエコを意識しているそうです。

危険な感じの車がくる。

危険な感じの車 Piston to Piston.All right? HAHA.

司会の女 (ペーパーを見ながら) えー、性犯罪者の再犯率の高さから、体内にICチップを埋め込み地図上に表示させるサービスはすでに実用化されていますが、こちらは性犯罪者の性的エネルギーを動力に変える車と言うことですが、ちよつと…えー…

危険な感じの車 Piston to Piston.All right? It, s my engine.

司会の女 つまり、ピストン運動をエンジンのピストン運動へ変換する…えー

：

危険な感じの車 Piston to Piston.All right?

司会の女 ピストン運動からのピストン輸送…。

危険な感じの車 Piston to Piston.Energy of piston.Do you understand?

司会の女 これが究極のエコです…。えー、申し訳ございません。こちらは、後ほど正確な翻訳がすみ次第のご紹介となります。(コンパニオンにちよつかいをだしている、危険な感じの車、捕えられると連れ去られる)

はい、さて、それでは、最後になりました。ご紹介するのは、これぞ究極のエコカーでございます。人類の作り出すものは全て神が創りしものの模倣に過ぎないという証でありましょう。なんといっても注目すべきは標準搭載の自動運転機能「KIZUNA」でございます。「KIZUNA」をやさしくそっと握りしめて頂くだけで、「帰巢本能」が発動。自動で家に連れ帰ってくれま

す。

まさに、未確認生物。今だかつてみたことのない物体。次世代の乗りもの、その名も「U.M.A.」。登場です。まさにコペルニクスの転回、これは技術革新というより、品種改良…

突然、電気が暗くなる。ざわめく場内。

観衆たち (ざわざわ) 停電？

響き渡る女たちの笑い声。

女の声 この車、アタシたちがもらったわ！

明かりが付くと「UMA」(つまり馬)にまたがった女が四人。

観衆の中から男が、叫ぶ。

男 みなさん、落ち着いて！警察です！床に伏せて！

フブキ あら、追っ手がまぎれていたのね。

男 貴様ら、PARKに戻れ！コンパニオンにまぎれて忍び込むとはこしやくなやつらめ！

エミ (笑って) 残念ね！UMAはもらったわ！

男 貴様ら、自分の家がどこかも知らずに帰れると思っているのか！

イズミ (キズナを握りしめ) ふふ、聞いていなかったの？こいつには帰巢本能が搭載されているのよ。

クリス 私たちのキズナ裁きをなめちやいけないわ。

フブキ 誰もあたしたちの家路を邪魔できない。

男 貴様ら！(銃に手をかける)

フブキ おおっと！あんまりUMAを刺激しないことね！試作品だからちよつと気性が荒いみたいよ。蹴り殺されなくなかったら、そこをどきな！

男 貴様ら、一体何者だ！

エミ よくぞ、聞いてくれたわね！

女4人、ひらりとUMAを飛び降りる。

フブキ ううー、寒い寒い。こんな日は早く家に帰ってあの人の腕のなかであつたまる。うっそ！フブキ！

エミ 笑え、力の限り。微笑め、その口裂けるまで。家族円満、世界は平和。うっそ！エミ！

イズミ 沸き上がれ！命の泉。君の顔みたら、ちよつと元気が出たよ。うっそ！イズミ！

クリス 私、日本人なんです。うっそ！クリス！

フブキ 時の谷間を跋扈する、胸の谷間にご用心、嘘の谷間に bitch あり！嗚呼、日本のどこかに私を待ってる人がいる。さあ、みんな！かえるわよ！

女 フブキ！（フのポーズ）

女 エミ！（エのポーズ）

女 イズミ！（イのポーズ）

女 クリス！（クのポーズ）

フブキ エミ！

エミ 何？

フブキ 下がって！

エミ （下がって小さく）エ！

四人 フェイク・エンジェルズ！

エミ （歌う）宇宙のウソは 俺のウソ（うっそそー）

俺の果てしない 憧れさ（うっそそー）

地球のウソは 俺のウソ（うっそそー）

俺の捨てきれぬふるさとさ（うっそそー）

友よ（うそよー）

明日のない 星と知っても（うっそそー）

やはり守って戦うのだ（うっそそー）

命を捨てて 俺は生きる（うっそそー）
命を捨てて 俺は生きる（うっそそー）
イズミ 輝く未来を約束します！（うっそそー）
クリス 絶対安全安心です！（うっそっそー）
イズミ 一人でできた！（うっそそー）
クリス ご利用は計画的に！（うっそそー）
フブキ ウラー！（爆弾的な物を投げる）

爆発が起きたようだ。

男 待て！貴様ら！
フブキ UMAはもらったわ！
クリス おとといおいでー。
エミ ヨーイ、ドンぶりー！

また、停電。女たちの笑い声。

「格安外国人」

「昨日ー」

「高木、加藤、屋舗、そして満塁のチャンスを打席は、」

歓声が聞こえている。

ザンザザンザンザン。ザンザザンザンザン。
足止めを食っているフェイクエンジェルズ、フブキ、イズミ、クリス。

クリス イズミ、ここは
イズミ わからない。

フブキ UMAの帰巢本能は私たちがいったいどこへつれてきたというのかし

ら。

イズミ (スマホに) ねえ、ここはどこなの？

スマホ 「51です。」

フブキ 51？51ってなによ。

スマホ 数字です。

フブキ 知ってるよ。

イズミ もしかして、時と空間の谷間へ私たちは落ちてしまったんじゃないのかしら。

フブキ そんないかにもな設定、私が許さないわ。

クリス でも、現に私たちはこうやって。

フブキ だめ。そうやって現実を受け止めてはだめ。現実を受け止めてしまうのはいつだって私たちの心。現実が私たちの心を受け止めてくれることなんて一度だってないんだから。

イズミ 負けちゃダメ。ルールや法則にしばらくはダメ、私たちはフェイク エンジェルズ。真実から自由自在になるの。

クリス そうね、私たちはフェイクエンジェルズ、真実になんか負けちゃダメ。

スポーティなサングラスの人がライトにいる。

女 (エミ) ここはエリア51。エリア51はアメリカネバダ州に存在するアメリカ空軍が管理する地域のことを指します。いまや、世界的に有名になってしまったにもかかわらず、アメリカ政府およびアメリカ軍はエリア51の存在をはっきりと認めず、公式に否定もしていません。敷地周辺の立ち入りはもちろん、撮影も一切禁止されており、これを無視して進み憲兵や衛兵に見つかった場合は逮捕処罰され、特に不審な場合は警告無しに発砲される事もあります。かつてはUFOとの関連もまことしやかに囁かれました。

クリス イズミ、

イズミ どうしたの。

クリス 動けない。

フブキ え。

クリス 足が、動かないの。

イズミ ホントだ。

フブキ 一体どうしたっていうのかしら。まるで釘付けされたように。

女（エミ） 実はそんなエリア51の名を冠した場所がもう一つ存在します。

日本からアメリカへ渡った背番号51の男。カメラの死角にない位置から突然姿を現しフライをキャッチする姿、そして人間離れた正確さでホームを射抜くレーザービーム、やがて彼が立つライトの守備位置は、畏敬の念をこめて、エリア51と呼ばれるようになったのです。

そして2012年7月23日、ライトを守る背番号51の男は私たちの前から、突如消えたのです。

「ザンザザンザンザン。」

「ザンザザンザンザン。」

ウグイス嬢、スーパーカートリオの名を告げる。

ウグイス嬢 （セクシーに） 1番、ショート、高木、背番号3。2番、センタ

ー、加藤、背番号44。3番、ライト、屋鋪、背番号31。

女（エミ） 私たちは、待っていました。そこは1986年、横浜スタジアム。

その年、横浜大洋ホエールズに就任した近藤監督は足を意識したチーム編成を決意。一番、高木豊、二番、加藤博一、三番に屋鋪要の俊足打者を据え、実に総盗塁数188をマークし、彼らはスーパーカートリオと呼ばれました。これは今に繋がるスモールベースボールの先駆けともいえます。UMAの帰巢本能にいざなわれ、私たちはスーパーカートリオがホームを目指す横浜スタジアムにたっていました。

しかし、スーパーカートリオと呼ばれた彼らにも悩みの種がありました。彼らがいくら塁を賑わせても、所詮、大洋、彼らをホームへ返す打者がいないことでした。彼らは残塁の山を築きました。ホームへ返してくれる誰かが現れるのをじっと待つしかなかったのです。じりじりとアウトが積み上げられ、いたずらに時間だけが過ぎていきます。

そして、やっと彼が、あらわれたのです。

エミ、ちょびひげをつけて打席にたつ。

フブキ あれは！

エミ ポンセです。

フブキ 180センチ、80キロ、右投右打、南ジョージア大、ブルワーズを経て、大洋に入団した、

エミ ポンセです。

フブキ 陽気なプエルトリカン、

エミ ポンセです。

ポンセの応援歌が聞こえてくる。

イズミ あれ、エミじゃない？

クリス ほんとだ、エミ！

エミ、意味ありげにウインク。

フブキ エミには考えがあるようね。

男（投手） 彼はドーナツが大好きでした。三食ドーナツでも構わないほどドーナツが好きでした。

1月6日、大洋は前年まで4番を打っていたレオン・リーを解雇。近藤監督の「チャンスに打てず、走れない選手は構想外」という考えで戦力外が決定。「走れる中距離打者が欲しい」という注文に、慌てたフロントが急遽獲得したのがポンセでした。忍者映画と時代劇が大好きなポンセは二つ返事でOK。1月も下旬に差し掛かっていた頃でした。

ウグイス嬢 4番、サード、ポンセ、背番号7。

男（投手） ポンセの年俸は3000万円。同僚だったローマンより1000万円も安く、位置付けはあくまでローマンの次の外国人。しかも大洋はブル

ワーズの足元を見てトレードマネー2500万円を獲得。つまり差し引き500万。ときはバブルまっさかり、20代で年収1000万がゴロゴロいた時代。大洋ホエールズ、後の横浜 DeNA ベイスターズはたった500万でこの陽気なラテンアメリカの男を手に入れたのです。こわい嫁さんを従えて来日したポンセ、ヒットを打たねばピザしか食わせてもらえなかったポンセ。この年ブルワーズからは大洋にローマン、ポンセ、ヤクルトにプロハード、阪急にアニマルと、まるで日本へ“集団就職”。なかでも一番年俵が安かったのがポンセ。

4月4日、横浜で阪神との開幕戦。ポンセは2打席連続本塁打を含む3安打5打点を放つのでした。当時の大洋の外国人打者はローマン、アドウチ、レスカーノと外れ外国人ばかり。格安外国人ポンセは大活躍。その後、彼は阪神戦で3打席連続デッドボールを食らいます。そして御子柴を殴ります。そんな彼は今、アメリカで長距離トラックを運転しています。

「ザンザザンザンザン、ザンザザンザンザン」

ポンセ、構えて大きく振る。

男（投手）　ポンセは打ちました。打球は大きく、大きくエリア51を越えて、空の彼方に消えていきました。

エミ　いまだ！走れ！

イズミ　エミ！

フブキ　ありがとう！

クリス　さあ、みんな！かえるわよ！

四人　よーい、どんぶりー！

四人、猛ダッシュする。

打球は浜風にのって大きく大きくライトスタンドへ。

「ファナティック先輩」

「今日―」

「車はその人生の大部分を停まって過ごす。」

女の声 「駐車券をおとりください」

営業車が一台やってくる。中には男が二人。荷台には何か商品がつまれているようだ。

先輩 30分前か。ちょっと車で待とうか。

後輩 あ、はい。

先輩 あっついなあ。しかし。

後輩 あ、なんか買ってきましようか。

先輩 え、じゃ、頼むよ。(財布を探り)

後輩 いや、いいすよ、僕出しますから、ジュースぐらい。

先輩 大丈夫大丈夫(と、小銭を出して)オロナミン、オロナミン買ってきて。

これ110円。オロナミン110円だから。

後輩 はあ。(と、出ていく)

先輩、汗を拭いていると、後輩戻ってくる。

後輩 オロナミン、なかったすわ。

先輩 え、なかった？

後輩 いや、そこまで探していないんすけど。あんまないじゃないすか、オロナ

ミン売ってる自販機。

先輩 そうだな。

後輩 デカビタでいいっすか。

先輩 え。

後輩 デカビタ。系統同じかと思って買っちゃいました。

先輩 あ、いいよ、いい全然いい。それ120円だよね。

後輩 はい。あ、いいすよ。

先輩 よくない、よくないよくないよ。あ、10円ないわ。

後輩 いいすよ、ほんと。

先輩 あ、50円あるわ。はい、いいよ、これで。

後輩 え、なんか違うくないすか、それ。

先輩 いいよ、いいよ。お駄賃、お駄賃。

後輩 いいですよ。

先輩 いいよ。俺、先輩なんだし、一応。

後輩 でも。

先輩 いいって、いいって。

後輩 え…、なんかすいません。

先輩 なににしたの。

後輩 あ、桃の天然水。

先輩 え、そんなのまだあるの。

後輩 はい。

先輩 オロナミンなくて桃の天然水あるんだ。

後輩 はい。なんか駐車場の自販ってラインナップおかしくないすか。マウン
テンデュー、グレープフルーツ味とかありましたよ。初めて見ました。

先輩 (笑って) もうマウンテンデューがわからないからね、俺。(また笑
う) 最近もう全然ついてけないよお、新しいのに。

後輩 マウンテンデュー別に今とかじゃないすよ。

先輩 あ、そうなの。

後輩 はい。

先輩 なんかさ、(笑って) どうでもよくなっちゃうわー、そういうの。

後輩 (桃の天然水を飲み) あつまー。うわ、なにこれ、あつまー。こんな甘
かったつけ、これ。

先輩 まあ、桃だからさ。

後輩 あつまー。

先輩 そんなに。

後輩 全然天然じゃないすよ、桃の天然水全然。

先輩の電話がなる。ゼビウスの着メロ。

先輩 はい。あ、どうもお世話になっております。え、はい、あ、そうですか。構いません。はい、承知いたしました。はい、では、それでよろしくお願い

いたします。(切る)アポずらして欲しいって、30分。

後輩 マジすか。

先輩 うん。

間

後輩 ゼビウスっすね。

先輩 あ、うんゼビウス、ゼビウス。

間

後輩 先輩、ちょっとコンビニとかで涼みませんか。

先輩 ないだろ、このへん。見かけなかったぞ。

後輩 調べますよ。(スマホだして)なんか口ベッタベタすわ、天然水で。

先輩 それで、そんなのわかるのか。

後輩 はい。

先輩 へー。

後輩 先輩嫌いすよね。こういうの。

先輩 嫌いっつうか。好きじゃないな。

後輩 近くのコンビニ教えて。

先輩 いや、だからオレ知らないよ。

後輩 いや、先輩に聞いてないすよ。

スマホ ここにファミリーマートがあります。

後輩 あ、ファミマありますよ。

先輩 なんだ天才か？電話すごいな、天才か？

後輩 どうします。ファミマイきます。

先輩 ファミマか、ファミマ好きじゃないな。

後輩 ファミマ嫌いですか。

先輩 なんかな、ファミマはな。

後輩 無理っすか。

先輩 なんかな。オレ西武きらいなんだよ。

後輩 ファミマって西武なんすか。

先輩 そうだよ。

後輩 はあ。

先輩 いいよ、いいよ、ここで。(と、デカビタをほんの少し口にする)

後輩 え、それしか飲まないんすか。

先輩 そうだよ、おまえ営業中にゲップでたらどうすんだよ。

後輩 はあ。

先輩 ゲップ。(出てしまう) ……こういうのはこまめに出す。(と、また少し
デカビタ)

後輩、先輩を見る。

先輩 俺、巨人ファンなんだ。(デカビタを眺めている)

後輩 え？

先輩 西武、嫌いなんだよ。

後輩 (納得して) ああ。誰推しすか。

先輩 中畑。

後輩 絶好調って、いつの巨人すか。監督すよ、今。

先輩 巨人の？

後輩 違いますよ、横浜。

先輩 大洋。

後輩 なんすか、それ DeNA すよ。

先輩 (半笑いで) そっか、そっか、そっか。いや、もう俺あんま見ないから、俺。見てる時間ないだろ、そんな。

後輩 いや、(時計をみて) ナイター間に合うでしょ、テレビ。

先輩 ないない、そんな時間ないんよ。

後輩 帰ってなにしてるんすか。

先輩 シャンプー。

後輩 あー。

先輩 バカかおまえ、俺らシャンプー売ってんだからシャンプー研究しないでどうすんだ。

後輩 はあ。

先輩 帰って、手洗いうがいシャンプー。いただきますごちそうさまシャンプー。洗濯アイロンシャンプー。歯磨きシャンプーおやすみなさい。シャンプー。

後輩 最後のいらなくないですか。

先輩 つけおきだよ。

後輩 はあ。

先輩 おまえ、会社のマニュアル暗記するだけで売れるはずないぞ。

後輩 はあ。

先輩 シャンプーに迫れ。シャンプーに好かれる。

後輩 でも、先輩

先輩 禿げてるな、俺。

後輩 はい。

先輩 剃ってんだ。

後輩 ええ？

先輩 禿げた男がシャンプーの営業にくる。客はどう思う？何か思うな。気持ち
ちがこつち向くな。

後輩 はあ。

先輩 ビジネスはそこからだ。

後輩 なんかしんどくないすか。

先輩 ゲップ。

後輩　なんか話としては美しいんですけど。

先輩　（半苦笑いで）そっか、そっか、そっか。そういう、考えもあるな。そっかそっかそっか。

後輩　ちよっと先輩ー。中途半端に理解しめされてもきついすよー。ついていきにくいっす

先輩　あはは、そっか、そっか、そっか。そうだな、反省反省。そっかそっかそっか。（デカビタ）

また、着信。ゼビウス。

先輩　あ、もしもし。はい、お世話になっております。あ、全然構いません。承知しました。はい、よろしくお願いいたします。（切る）ごめん、あと三〇分だつて。

後輩　ちよ、先輩、車停め直しません？

先輩　え、なんで。

後輩　こー一五分三〇〇円でしょ。手前にあったとこのほうが安いっすよ。

先輩　一五分五〇〇円だったろ。

後輩　最大一五〇〇円ってかいてましたよ。一時間半で、こっち高くなりますよ。営業いつてたら、いくでしょ、そのぐらい。

先輩　あー。

後輩　出ましょ、出ましょ。

先輩　いいよ、いいよ。

後輩　高いっすよ。

先輩　いい、いい。どうせ会社の金なんだから。

間

後輩　ゼビウスすね。

先輩　ゼビウス、ゼビウス。

後輩　あれ、むずいっすよね。おれ一周も無理でした。

先輩 おれ、カンストできるよ。

後輩 え、マジすかー。あー、なんかオロナミン飲みたくなってきた。ちょ、デカビタいいすか。

先輩 ダメだよ。

後輩 そうすか。(桃の天然水を飲むと) あつまー。

◎月に一度の美容院の日

女 髪、切りに来たんです。引越してちよつと遠くなっちゃったんで、車で遠くなったっていつでも自転車で来れるくらいなんですよ。美容院駐車券くれるんです。私、美容院とかちよくちよく変えるタイプじゃないんです。でも：あ、いいですか。美容院、駐車券くれるんですけど、絶対一時間分しかくれないんです、何でか。パーマとかカラーリングとかしたら、絶対一時間以上かかるんです。でも割引券一枚しかくれないんです。言えばいいじゃないって思うかもしれないですけど、二枚くださいって。そこね、ちよつとなんかこじやれた感じなんです。店の中に川流れてて。こじやれてるでしょう。髪の毛洗う部屋、別室でちよつと照明おとして、いいにおいとかさせてるんです、入り口とか、縄のれん、縄のれんじゃないや、なんていうの？もつと細いやつ下がってるんです。で、切り終わったら、スタイリストさん、外まで送ってくれて、握手するんです。で「はありがとございましたああん。」って、なんか「はありがとございましたああん。」だけ、お店の人みんなトーンそろえてるの。割と高めに。私のスタイリストさん結構声、ハスキーなんだけど、「はありがとございましたああん」って。言えないですよ。駐車券二枚ちょうだいとか。野暮じゃないですか、あたし野暮じゃないですか、こんなこじやれたとこで、月に一度のリラックスタイム作ってくれようって頑張ってくれてる人たちに、言えないです、すいませんもう200円分下さいとか。ごねるのはさ、もつとごねるべき人がごねたらいいんです。ていうか、握手して「はありがとございましたああん」てさ、あたし女だからいいですけど、あれ男だったらキャバですよ。60分200円ポッキリ、ヘアカット付き。

「WWW」

「昨日―」

「荒くれ者たちは、サルーンで酒をあおりながら武勇伝を語る。」

イズミ エミの場外ホームランの瞬間、ホームを目指した私たちは、なぜかココにいました。ほこりつぽい舗装されていない道路。木造の薄汚れた建物が建ち並ぶ小さな街。

「ヒュウウウー」とこれ見よがしに音をたてて、存在を主張する風。種類は全く分かりませんが、その風に乗ってコロコロと転がる草の固まり。みたことはあるけど、知らない風景。ここは日本じゃない。

スマホに聞いてみると、彼は、え、彼女？それ？は「WWW」、と答えてきました。

荒くれ者たちが酒を飲んでいる。

荒くれ者1　そこで、俺は言ってやったのさ。勇敢なのはお前じゃない、お前の馬だつてな。

男たちガハハと笑う。

荒くれ者2　そいつは傑作だぜ。

荒くれ者1　そしたら、ピリーのやつなんていったと思う。その馬を操っているのはオレだ、てな。

荒くれ者2　ガハハ、ついにいかれちゃったな。

荒くれ者1　そしたらアイツは銃を抜いた。

荒くれ者2　そしてお前も銃を抜いた。

荒くれ者1　俺も銃を抜いた。

女主人　いったい何の話をしてるんだい。

荒くれ者1 ここが西部だつてことを、会話でわからせる練習をしているのさ。
女主人 は、本物の西部の男は口数が少ないもんだよ。

荒くれ者2 ガハハ、女の減らず口は砂漠の蛇よりたちが悪いぜ。

イズミ 「マダムスルーフトスーのサルーン」そう書かれた看板を見つけた
フブキ姉さんはUMAをくりつけると私たちに待つようにいい、こう「ギ
ー」つてこつちとあつちにあく、ドアの向こうに消えました。

中には荒くれ者たちと酒場の女主人が、客が来るのを待っていました。

サルーンの扉が開くと、フブキ入ってくる。

ヘルメットを脱ぎ、頭をやたら振って髪の毛を整える。

凍り付く室内。

フブキ (足音) ゴトツゴトツゴトツゴトツ。(カウンターにつき) ビールを
もらうわ。

ビールがカウンターを滑ってくる。

女主人 シュー。

フブキ パシッ。(一口のんで) ここは？

女主人 表の看板みなかったのかい。

フブキ マダムスルーフトスーのサルーン。

女主人 そう、ここは開拓時代の西部、ワイルドワイルドウェストさ。荒くれ
者たちがインディアンと戦い酒と女に溺れる場所さ。

フブキ 西部。あんたは。

女主人 あたしはマダム・スルーフトスーさ。この女主人さ。

荒くれ者たちが「スー、スー」はやし立てる。

荒くれ者2 なあ、スー、今日もおいらの相手してくれよ。

荒くれ者1 なあ、スー！

荒くれ者2 スー、スー、スルーフットスー！

女主人 おだまり！クズども！あんたどこから来たんだい。

フブキ 横浜…。

荒くれ者1 YOKOHAMA ♪

荒くれ者2 HAMA ♪

フブキ YES,HAMA.

荒くれ者1 HAMA… GURI ♪

フブキ 『YOKO』HAMA.

荒くれ者2 YOKO… 『HAME』？

フブキ 横浜スタジアム。

荒くれ者1 OH,ballpark.

荒くれ者2 ballpark.Yee-Haw!

荒くれ者1 何しにここへ来た？

フブキ 家に帰る途中だ。

荒くれ者2 家？

サルーンは不穏な空気に。

荒くれ者1 おい、家に帰るってよ。

女主人 家ってどこだい。

フブキ それが分からない。UMAに頼ってここまで来た。

荒くれ者1 馬任せの旅もわるくねえ。

荒くれ者2 家なんかには帰ったって仕方ねえだろ。

荒くれ者1 風呂入って寝る以上にすることなんかねえんだ。

荒くれ者2 家に帰ったってろくなことはねえ。

女主人 暫く、この西部にいるといい。

荒くれ者1 馬がここに連れてきたなら、ここが帰るところってことさ。

女主人 そうさ、ここはワイルドワイルドウエスト。お前みたいな訳ありの人

間が夢を見て暮らせる場所さ。

荒くれ者1 そのかわり自分の身は自分で守らねえといけないけどな。(腰のGUNをちらつかせて笑う)

フブキ口笛を吹くと、恐る恐るフェイクエンジェルズたち入ってくる。

女主人 なんだ連れがいたのかい。

フブキ みんなアタシのキョウダイたちさ。

女主人 腹違いかい？

フブキ なんだった？

荒くれ者1 全然似てないじゃねえか。

女主人 じゃあ、種違いかい？

フブキ そんなじゃないよ。腹違いで種違いさ。

女主人 それは兄弟なのかい。

クリス ここはどこなの。

フブキ エミ、どうやらあなたの満塁ホームランは、浜風に乗って開拓時代の西部へ通じていたみたいだね。

と、ギターを抱えた渡り鳥入ってくる。

また、サルーンは不穏な空気に。

渡り鳥 カツーン、カツーン、カツーン。(カウンターにつき)ビールをくれ。

女主人 シュー。

渡り鳥 バシッ。(一口のみ)馬を停めるところを探している。

女主人 外に勝手につないどきな。

渡り鳥 300頭だ。

女主人 は、あんたなにいつてるんだ。ローハイドのつもりかい。

渡り鳥 300頭の馬を停めたいっていつてるんだ。

荒くれ者2 おいおい、お前挨拶もなしにいきなり無理難題だな。

渡り鳥 質問に答えてくれ。早くしないと駐禁がくる。

荒くれ者1 チューキン？誰だそいつは。貴様、追われてるのか。

女主人 やっかいごとは御免だよ。

渡り鳥 立体駐車場はどこだ。

荒くれ者1 なにを言ってるんだ。リツタイ・・・？

渡り鳥 立体駐車場だ。

荒くれ者2 ジョー……。お前、ジョーを探しているのか。おい（荒くれ者1に目配せ）

荒くれ者1 ジョ、ジョー？この町にジョーなんてやつはい、いねえな。

渡り鳥 ふん、しけた町だぜ。これからは立駐ぐらい完備してないとやっていけねえぜ。

女主人 聞き捨てならないねえ。

渡り鳥 ふん。いいことを教えてやろう。駐車場の駐の偏はウマって書くんだぜ。（キメル）

間

女主人 あんたが思ったほどキマってないよ。

渡り鳥 なれてるさ。（4人に）おい、お前ら、ホントにここが西部だと思うてるのかい。

女主人 まちな。それ以上は言わせないよ。

渡り鳥 言わなくてもわかるさ。

渡り鳥、銃を撃つと、荒くれ者1の帽子を飛ばす。ネズミの耳が現れる。

イズミ （耳を見て）なに、なんなのあれは。

エミ ミツキーよ、ウエスタンなミツキーマウスよ。

荒くれ者1 ふ、ミツキーが西部にいて何がおかしい。彼はどこにだっているし、何にだつてなれるんだ。キューピーやキティと同じさ。

渡り鳥 そこが問題だと言ってるんだ。

クリス 姉さん、あたしこの人達なにを言ってるかわからない。

渡り鳥 お前ら。早く逃げろ。ここはお前らのウチじゃない。

フブキ どういうこと。

渡り鳥 ミッキーの正体をしってるか。

クリス 正体？中に人が入っているってこと？

渡り鳥 そういうことじゃない。もう人はミッキーが本当はどんなネズミかだなんて忘れてるってことさ。何にだって使えるあの形さえあればいいんだ。

あれはもう、都合よく劣化コピーされ続けたなれの果て。ここは、そいつらが群れるテーマパーク。そして人はここを夢の国と呼ぶ。

「東京デイズニールランドのテーマ」が聞こえてくる。

荒くれ者1 貴様、よくも抜け抜けと！

渡り鳥 早く逃げろ！さもないと、お前らも都合のいいキャラクターにされち

まうぜ！フェイクエンジェルズ！

荒くれ者2 貴様いったい何者だ！

渡り鳥 俺か、俺の名はアキラ。

荒くれ者1 貴様、そんなに夢を見るのが嫌いなら、一生夢から覚めないようにしてやるぜ。

撃ち合いが始まる。

バンバンバンバンバン。

荒くれ者2 がはあ！（撃たれるとなぜかよろめきながらサルーンの外へ）

荒くれ者1 ジョー！

イズミ 姉さん、ここは西部じゃなかったの？

フブキ うん。ここは西部なんかじゃない。

クリス どこなの？

フブキ 千葉よ！

クリス 千葉あ？

フブキ エミ、とんだ場外ホームランだったわね。

渡り鳥 バンババンバンバン。(撃ちあいながら) さあ、逃げる！

荒くれ者1 待て、帰さねえぞビッチども！

女主人 ずっと待っていたのよ、アナタたちを！

イズミ あなたは？

渡り鳥 アキラだ。

イズミ 小林？

渡り鳥 さあな、俺もキャラクターの成れの果て。時々、自分でもわからなくなるのさ。俺はユウジロウか、いや、もしかしてユウゾウかもしれないってな。

と、いきなりサルーンのドアが開き、半球状の透明のドームをかぶった男が来る。

バズ こっちでござる、フェイクエンジェルズ！

イズミ あなたは？

バズ 拙者はバズ。バズライトイヤー！

荒くれ者1 貴様、バズ！お前の持ち場はトゥモローランドのはず！

バズ そうさ、トゥモローランドのバズのアストロブラスターは今日も5時間

待ちの大人気さ。そんなことは知ったことじゃないでござる。

渡り鳥 いかん！劣化が始まっている！急げ、バズ、日本向けに劣化が進んでいるぞ！

荒くれ者1 くうう、やつのせいで夢の国の設定が崩壊しかけているぞ！

女主人 早く仕留めて。

バズ さあ、拙者の周りに集まるでござる。

エンジェルたち集まる。

フブキ どうするの。

バズ 拙者の力でワープさせてあげるでござる。

イズミ あなたワープなんてできるの。

バズ できることにしたらできるのでござる。

クリス そういうもんなの？

バズ 本当はちゃんと伏線があるのでござるが、今は緊急事態なので気にしないでござる。

女主人 めちゃくちゃだ！夢の国が崩壊しちゃう。

渡り鳥 頼んだぜ、バズ！

バズ わかった。でも拙者、なぜこの人達を助けたいかわからないでござる。

渡り鳥 仕方ないさ、そういうキャラ設定なんだ！

バズ 悲しいことござる。

渡り鳥 ああ、でもその悲しい気持ちさえもキャラ設定さ。(エンジェルズに) 行け！

女主人 待ちな！勝手なまねはさせないよ。夢の国には夢の国のルールがあるんだ！

渡り鳥 もうひとつ教えてやる。WWWはFDLじゃない、USJにあるんだぜ！。USJはOSK大阪から、環状線KJSにのって、NKJ西九条で乗り換えたら、たった二駅TTFさ。

女主人 DDI!...どうでもいい！

バズ 行くでござる！

エミ 掴まればいいの？あなたに。

クリス フブキ、これ。(バズの背中に手綱のようなもの)

フブキ この曖昧な握り心地、これはもしかしてKIZUNA！

エミ バズさん、あんた、UMA、

バズ ヒヒーン！

渡り鳥 早く、劣化が進んでいる。

バズ 時間がないでござる！

フブキ どうすれば！

バズ そのへんは適当に！それっぽく！

エミ わかった！

バズ 今だ！

フブキ 時の谷間を跋扈する、胸の谷間にご用心、嘘の谷間にbitchあり！日

本のどこかに私を待ってる人がいる。さあ、みんな！かえるわよ！
バズ 「無限の彼方へ、さあ行くぞ！」

五人 よーい、どんぶりー！

ワープがはじまる。

イズミ WWW は人類の歴史上かつてないスケールで個人間の情報交換を可能としました。

クリス 時間的空間的な隔たりを越えて、交換したり発信したりすることができるようになったのですね。

イズミ はい。そうです。経験、政治的考え方、文化習慣、音楽の風習、ビジネスについての助言、芸術、写真、文学などが、人類史上最も安価にデジタル化されて共有・拡散される。クリス WWW はそれを支える技術と設備の上に成り立っているが、物理的な形を持たない。そのため WWW を通した情報伝播は物理的な量に制限されず、情報をコピーする手間もない。

イズミ そうなんです。WWW 上の情報は簡単かつ効率的に検索でき、他のどんな手段よりも早く情報を集めることができます。すなわち

クリス はい。WWW は地球上に現れた情報交換媒体としては最も広範囲で遠くまで伝達可能なものなのです。

イズミ WWW 上の文書は 5500 億個以上も存在し、その多くは「深層 Web」にあるといいます。75 種類の言語で Web 検索を行ってサンプリングしたところ、一般に検索可能な Web は少なくとも 115 億ページ存在するとの結果を得ています。

クリス WWW 上のウェブページなどの資源にアクセスするには、

イズミ まずウェブブラウザに URL を入力するか、

クリス ウェブページのリンクをたどれば

イズミ よい。すると、第一段階として URI のサーバ名を表す部分が DNS にクリス よって IP アドレスに変換されます。次に、その IP アドレスに対応イズミ する WWW サーバに対して、URI のスキームに従い接続を試みます。

プロ

クリス トコルとしては主に HTTP が使用され、一般的なウェブページでは、ページを構成する HTML

イズミ HTMLドキュメントや画像ファイルが要求され、即座に要求元に転送される。

クリス ウェブ

イズミ ラウザは、受け取った HTML ファイルや CSS ファイルにしたがってレンダリ

クリス ングし、画像をはめ込み、リンク

イズミ をはめ込むなどの仕事を行い、ユーザーが見ている画面

クリス 上の「ページ」が生み出される。

イズミ 多くのウェブページは他の関連するページとのハイパーリンクを含んでおり、このハイパーリンクによって情報の網が形成される。これによって

World Wide Web が構成されているので

クリス ある。

女の声 「駐車券をおとりください」

◎つけ麺に挑戦する日

男 ラーメン食いに来たんすよ。ほら、表の「麺道 小鉄」って店。結構列んでましたよねえ。やっぱり、そうすか。萎えるなあ。いや、オレつけ麺苦手で。そもそも、なんで麺とタレ分けんの、しょせん賄い飯じゃないのって思うんすよ。まあ、そんなこと今更言ってもね、つけ麺好きの誰も説得してくれないぐらい初步にして根源的の苦手意識なんですけどね。まわりにもつけ麺好きな奴結構いるんですけど、オレがそんなこと言ったら、みんなあ、そうみたいな感じで、それならそれでいいよ、別にお前はこっち側こなくていいよみたいな雰囲気になってアルカイックスマイルされるんすよ、最近。え、なんなんすか、つけ麺教は、もう信者十分ですか。お布施足りてんすか。みたいな。近くにラーメン屋もう一軒あるんですけどね、「麺麺」。そこずつと行ってたんすけど。店長かわったんですよ、こないだ。なんかすげえ色白の店長。結構太ってて。白いダッコちゃんみたいなんすよ。そのダッコちゃ

んホワイトがくせもんで、なんかいろいろ指図されるんすよ。「かきませずにお食くださいさヒッ。」とか「お水飲みすぎるのは、お控えくださいさヒッ。」とか、なんか最後「ヒッ」ってなるんですよ。なんかだんだん「ブヒッ」って聞こえて来て。「かきませずにお食くださいさブヒッ。」とか「お水飲みすぎるのは、お控えくださいさブヒッ。」「ブヒッ、替え玉ブヒッ」「メンマキムチブヒッ」ってダッコちゃんホワイト。なんか、店長ダッコホワイトになってから、ラーメンもまぶくなかった気がして。そしたら、仕事の帰りここ通るんですけど、あーなんか列んでんって。でも、あーつけ麺かってなって、やめてたんすよ。でもこないだね、上司と飲んだんですけど、しめにラーメンいくことになって。オレ、つけ麺ダメだってんで、普通のにしたんですけど、そしたらラーメンすりながら上司がね「うまいつけ麺はな。麺とスープを分ける意味。それを理屈じゃなくて舌に教えてくれるんだ。」ガツーン。おいおいつけ麺教の信者が、みんなオレに寂しく微笑むのはそのせいかな？理屈で折伏すんじゃないくて、オレの舌が時を得るのを気長にまっけてくれているというのか。なんとという気高い信仰心。ってなっちゃって。で、来てみたんですけど「麺道 小鉄」。列んでますよねー。(時間を気にして)あ、一時間越えるかな。つか、一時間越えたら、ラーメン一杯いけるじゃないすか。萎えるわー、まずかつたらどうしよ。萎えるわー。

「TRAFFIC」

「明日ー」

「ワープ中、エンジェルたちは渋滞につかまる。」

エミ ちょっとー、まだつかないのー。

フブキ あたしに聞かないでよ。

イズミ ワープってこんな時間かかるもんなの？

クリス もっとピッてつくんじゃないの。ピッて。

イズミ ワープ！って言ってる間につくイメージあるよね。

クリス あるある。

イズミ なんかすごい時間かかってない？あたしお腹すいてきた。

エミ (まわりを見て) てか、なんか混んでない？

クリス ワープって渋滞すんの？

フブキ だから知らないって。

エミ なんかあれよ光の速さに近づくと時間の長さが変わるのよ。それじゃない、多分。

フブキ お、さすが大卒。

エミ どうせワランですけど。

イズミ なにワランって。

エミ え、ワランク大学。言わせないでよ。

フブキ ワランって略して言うのかもなんか賢い。

エミ あんたらどっちだっていじるんでしょ。

フブキ ちょ、ワランまだつかないの。

エミ 知らないって。

イズミ ワランでもわかんないの。

エミ わかりません。

クリス Fランで習わないの。

エミ 習いません。

フブキ ちょ、あんた、面白い話なんかないの。

クリス え、あたし？ないよ。そんなの。

エミ しろよ、なんか。暇なんだからさ。

フブキ どうせワープなげえんだし。

クリス ワランしてよ。

エミ 殴るよ、あんた。こういうときは一番下がもりあげんのよ。

クリス えー。

エミ なんかあんでしょ。

クリス (考えて) わかった。この話、ちよつといい話んだけど聞く？

イズミ のほー聞くー！

エミ 聞くー！

フブキ はい、じゃ、人の話聞くときは？
イズミ 愛のあるムードで！

四人 いえーい！（なんかみんなでハイタッチ）

クリス えっと、後輩に開口っていう、すごい頭の悪い男がいて、そいつが「クリスさん、いいバイトあるんすよ。」っていうから、

ここから、男たちによりクリスのエピソードも並行して演じられる。

関口 クリスさん、いいバイトあるんすよ。

エミ あんた、クリスさんって呼ばれてんの。

クリス なんで、そう言う名前だもん、そうでしょ。

フブキ クリス。ぶっ。

エミ いや、改めて考えるとクリス、クリス顔じゃないよね。

イズミ どっちかつつうと姉さんよね、クリス顔。

クリス ちよつと。

エミ （笑う）

クリス ちよつと、人の話聞くときは？

四人 愛のあるムードで！いえーい！（なんかみんなでハイタッチ）

クリス で、入っちゃたのよ、そういう定期的にポスターとか張り替えるバイトのメンバーに。デパートのエスカレーター乗ると横に貼ってるポスターとか時々変わったりしてない？

3人 あー、あー。

クリス ねねね、そういうのを定期的に張り替えるバイトやってたのよ、友達と。で、メンバーの一人の頭の悪い関口の友達にファッキン仮面ってあだ名のやたらエラのはった生意気な奴がいたのよ。

ファッキン仮面 ファッキン仮面です。よろしく！

フブキ ファッキン仮面…。

クリス なんでそんなあだ名がついたのか、アタシも知らないんだけど。そいつがとにかく憎たらしいのよ、その子。

イズミ え、なんで。

クリス あきらかに童貞なの。あきらかに、どうみても。

ファツキン仮面 童貞じゃないよ、童貞じゃないよ。僕、童貞じゃないよ。

クリス で、服とかもすごいダサイわけ。で、身綺麗にはしてるんだけど、で、セーターとか着てるんだけど、ジープンの中に入れちゃったりしてるの。

エミ うわ、ださ。

イズミ はー。

クリス で、みんなが、「おめ、だせえよファツキン仮面」っていうじゃない。友達 おめ、だせえよファツキン仮面。

ファツキン仮面 ベルトがいいやつなんだよ。

クリス そしたら、「ベルトがいいやつなんだよ。」とかっていうのよ。

ファツキン仮面 ベルトがいいやつなんだよ。ベルトがいいやつなんだよ。

フブキ あ、むかつくー。

イズミ ベルト見せるためにセーター中入れんだ。

クリス で、そのデパートの屋上に100円いれるとピンピラーとか音楽鳴って、(パンダの音がうっすら聞こえる)なんかゆっくり歩くパンダの乗り物があったのね。パンダつつうか、雨風にさらされて、黒いとこほとんど禿げてる、なんか雪男？未確認生物？みたいな。100円で動く。

イズミ ね、ファツキン仮面童貞だったの。

クリス ファツキン仮面は。本人はね。今まで5人と付き合ってたってたんだけど、よくよくみんなで3時間ぐらい問い詰めたら、今まで話しかけたことがある女の子が三人いただけなのよ。

フブキ 勘違いだ。

ファツキン仮面 童貞じゃないよ、童貞じゃないよ。僕、童貞じゃないよ。

エミ 2人サバ読んでんじゃん、しかも。

ファツキン仮面 童貞じゃないよ、もー、童貞じゃないよ。童貞じゃないよ。童貞じゃないよ。童貞じゃないよ。

クリス 嘘ついてんの。

フブキ で、屋上のパンダはどうしたの。

クリス バカの関口はパンダが好きで、よく100円いれてパンダ乗って、タバ

コすったりしてたのね。

イズミ え、ファツキン仮面どうしてんの。

クリス で、ファツキン仮面は、なんだかしんないんだけど、そのパンダにいつも乗りたがってて、

ファツキン仮面 乗せてよ！

関口 やめろよ。

ファツキン仮面 乗せてよー！

関口 近づくなよ。

ファツキン仮面 なんだよ、乗せてよ。

関口 だあめ。

ファツキン仮面 おまえばっかりじゃないか！

関口 しつけーよ。

クリス で、毎回毎回その関口とパンダの取り合いになるんだけど、むかつくからって一回たりとも乗せなかったの、関口は。

フブキ バカの関口が。

クリス そう。で、ある雨の日、大嵐の雨の日、じゃんけんして負けた人が大雨の中パンダにのって、パンダの音楽が終わるまでこの踊り場まで帰ってきたらダメだって罰ゲームしよって話になって。

友達 罰ゲームしようぜ。

ファツキン仮面 ダンボールかぶればいいんだよ。ダンボールかぶればいいんだよ。ダンボールかぶればいいんだよ。

みんな じゃんけんしよ。

イズミ びしょぬれになっちゃうでしょ。

クリス ん、だから、ダンボールかぶるのはオツケーなの。

イズミ ファツキン仮面が負けたんでしょ、じゃんけんに。

クリス んーん、関口がまけたの。

ファツキン仮面 あ、関口くんの負けー！関口くんが負けたよ。関口くんが負けたよ！

フブキ バカの。

クリス そう。でも、ファツキン仮面がいつもそのパンダに乗りたがってたも

んだから、「ファッキン仮面にゆずってやるよ」ってゆったら「やだ！」って
いうのよ。

関口 ファッキン仮面にゆずってやるよ。

ファッキン仮面 やだっ！

イズミ あたりまえじゃん。

クリス でも、パンダに入れるその100円だしてやるよってついたら、「ホ
ント！」っていうの。

関口 100円だしてやるよ。

ファッキン仮面 ホント！ホントに出してくれるの！

イズミ いいねー。

クリス で、しぶしぶのふりして、結局ファッキン仮面がパンダのることにな
ったの。で、大雨のなかファッキン仮面放り出して、で、うちらは入って踊
り場に鍵閉めたら、(ボタン) ドアをドンドンドンドンって叩く音が聞こ
えてきたの。(ドンドンドンドンドン)

ファッキン仮面 あけてー！(ドンドンドンドン) あけてよー！(ドンド
ンドンドン) ちよつとあけてー！(ドンドンドンドン)

クリス で、「なんだよ」ついたら、強風でダンボールが飛ばされてびしょび
しよになったから開けてくれて怒ってんの。ファッキン仮面が。

イズミ え、へー、で開けたの。

クリス んん、とにかくパンダ乗れつつ、

友達 パンダ乗ってこいよ。

クリス とにかくパンダ乗って、パンダの音楽が終わるまで乗れ！ついたら
「わかった！」つつて、

ファッキン仮面 わかったよ！いくよ！

クリス 元気な声出して、ドアの向こうでいってんのファッキン仮面が。

エミ へー。

クリス みんな、えーって思って、ちよつと隙間開けてみたら、ほんとに乗っ
てんよパンダに大雨の中。(パンダの音楽) も、みんな大爆笑で。

友達 ホント、乗ってるよ。(みんな笑う)

クリス で、すきまから、でも、雨がすごい入ってきたから閉めたの。(バタ

ン)で、パンダの音楽終わって、したら、またドンドンドンドンってドア叩く音がして「パンダ乗ったから開けてくれよ！」って叫んでんの。

ファツキン仮面 あけてよ！（ドンドンドンドンドン）あーけーてーよ！（ドンドンドンドン）

クリス で、あけるかどうかすんごい迷ったんだけど。かわいそうだから開けてあげて。（開ける）

フブキ 怒った？ファツキン仮面。

クリス 「ふざけんな、おまえら、馬鹿野郎！」ってすんごい怒ってんの、全身びしょぬれで。

ファツキン仮面 ふざけんな、おまえら、馬鹿野郎！馬鹿野郎！馬鹿野郎！馬鹿野郎！馬鹿野郎！

イズミ あたりまえじゃん。

クリス 「どうだった？」

関口 どうだった？

クリス ってバカの関口が聞いたの、ファツキン仮面に。したら、「ホントは乗ってませんでした！」

ファツキン仮面 ホントは乗ってませんでした！

クリス とかってゆーのよ！

フブキ うっわ、むかつくっー。

エミ ほんとは乗ってたのに。

クリス 見たんだからアタシたち、乗ってんの、パンダに。

イズミ で。

クリス おしまい。

フブキ え？

エミ ちよっと待ってよ。

イズミ どこがいいはなしなの。

クリス だから、大雨の日にわざわざ百円払って屋上のパンダ乗るな！って話しよ。

フブキ はああああ？（しばく）

クリス、みんなにしばかれる。

エミ　ほんとしよーもないね。

クリス　言ったじゃん。

フブキ　言ったけど。

イズミ　すごくない？ほんとにもないよ、この話。

クリス　時間はつぶれたじゃん。

イズミ　ま、そうだけ。

クリス　あー、喋ったらお腹すいてきた。ね、ところであたしらどこむかってんだっけ。

フブキ　うち帰るんでしょ。

クリス　あ、そっか。でもあのバズなんとかに目的地言っていないよね。

イズミ　大丈夫じゃないの。だってみんなの力がひとつになって、みたいな雰囲気あつたじゃん。ワープの際。

フブキ　際ね。

イズミ　みんなの思いがワープを成功させたのよ然とした、ねえ？

フブキ　然としたね。

クリス　そっか、じゃあ大丈夫か。

エミ　ちよ、あそこファミマあるよ。

クリス　あ、ほんと。

エミ　寄る？

フブキ　寄ろっか。

イズミ　寄ろ、寄ろ。

クリス　へー、ワープにあるんだファミマ。

エミ　ファミマワープ店？

クリス　なんかそれどっかにありそうじゃん。

エミ　ああ、ありそう。ローソンとファミマだけでしょ、全国にあんの。

イズミ　あたし、とろろそばにしようかな。

フブキ　移動中に汁モンやめてくれない。

エンジェルズ、ファミマへ。

「ファミリーマート」

「明日―」

「地球を救う終わりなき戦いから離脱した男は眠気と戦う。」

ソルバルウを操っていた男がレジで働いている。

深夜22・00〜早朝6・00が定点観測され、高速再生される。

訪れた客の中には、フェイクエンジェルズもいる。

男はひたすらレジを叩く。まるで、ソルバルウを操るのと同じリズム
だ。

「タタタタタタタタ、タタタタタタタタ」

「いらっしやいませ。」

「ありがとうございます。」

「46番のタバコ。」

「年齢確認のボタンを押していただけますか。」

「お弁当温めますか？」

「袋はご一緒にいいでしょうか。」

「Tポイントカードはお持ちですか。」

「二番目にお待ちのかたこちらへどうぞ。」

「トイレ貸してください。」

立ち読みエリアに滞留して去っていく者。

携帯で話しながら、何を買うでもなく去っていく者。

店員、掃除、フェイスアップ、うつらうつら。ゴールデンライン。

ビールから弁当。大量のスナック菓子。

イチャイチャと歩く部屋着の男女。

カップ麺。高校生。酔客、酩酊、ドリンク剤。

8時間、7600円、76回、カンスト可能。

夜は深まっていく

どこからか、ピシリピシリと石が木を打つ音が聞こえる。

「国姓爺合戦」

「今日―」

「渋滞のボトルネックで待ち受けるのは日本の物語」

ひっきりなしに、クラクションの音が聞こえている。

ビービービービー。

クリス ファミマに寄ってからも、ワープは渋滞していました。のろのろと時間
間の谷間を漂ううちに、渋滞の原因が分かりました。道の真ん中で二人の爺
さんが囲碁を打っているではありませんか。このまだらボケの糞ジジイのお
かげで二車線のワープが一車線になっていたので。

イズミ (スマホに) ねえ、これいつ終わるの？

スマホ あと30分です。

フブキ (スマホを指して) あてになんの、それ。

イズミ わかんない。いや、なるでしょ。

クリス なにそれ。役立たず。

スマホ ファツキン仮面よりまし。

クリス だっはー。

エミ 何あれ。

イズミ え、うそ、あれのせいで渋滞してたんじゃない。

クリス 道の真中で囲碁してんだけど。

エミ だから、渋滞してたんだ。

イズミ 意味分かんない。

エミ 西武からお金でてんじやないの。ファミマに寄らせんのに。

イズミ ファミマってウエスタンなの。

エミ そつちじやなくて。部署の部じやなくて、武士の武。

イズミ え、なにになに。

エミ 部署の部じやなくて、武士の武。

イズミ 部署の部じやなくて？

エミ 部署の部じやなくて、部署の部。じやなくて部署：武士。いい。もういい。ちよつとあたし言ってくる。

クリス やめときなつて、絶対頭おかしいから。あーいう、ジジイめんどくさいよ。

イズミ そうだよ、もうあたしら渋滞抜けるんだし。

クリス 関わらないほうがいい、いい。

フブキ 誰かいうつて、後ろの誰か。

エミ あたし、あーいうの許せないの、迷惑じゃん。

ナレーション 移り変われば変わるもの、なごやかな春景色も、今では深山幽谷のものすさまじい秋景色。明けても暮れても山また山、里との行き来あと絶えて、深山ガラス（みやまがらす）や梟や、梢に来て鳴くオウムさえ、昔を思い出させるような言葉も言わない。

流れより遠く山うち続くと、根笹分け分け茅原渡り、榎や檜木の林を越えて、高くそびえる山の路、よじ上り這い上り、しばしたたずむ松の下、大きな眉に白いひげの老翁二人、岩の上に碁盤を据え、黒と白との石の数は、361目。あるいは離ればなれに三隅をなし、あるいは一連の斜線をえがき、わきめもふらず戦わす碁の勝負。身は枯れ枝にとまる蟬のよう、俗世を離れた碁のやり取り。

エミ すいません。道の真中でなにやってるんですか。渋滞してるんですけど。どいてくれませんか。他にやることあるでしょう。

翁 碁盤と見れば碁盤、碁石と見れば碁石。だが、この大地世界を一面の碁盤と見なすということもある。従つてこの国の山河草木、今この場より手に取

るごとく眺められる。一つの隅には90目、四方で四季の90目、合わせて360目、すなわち一年360日、一目打ったび一日をおくると知らぬ愚かさよ。

エミ すいません。あたし、そういう喋り苦手なんですよ。なんでこんなところで囲碁打つんですか。いい年したじいさん二人で。

翁 何事も陰陽二つなかったなら、すべて整うことはない。

翁2 そのとおり、むしろ二人で陰と陽。聞こう！勝負のあるのはなんのため。エミ しりません。

翁2 人間の吉凶は時の運というではないか。

翁 白と黒とは。

エミ ちよつと。

翁2 夜と昼。

エミ あのさ。

翁 その手段は。

翁2 軍法である。

エミ じいさん。

翁 切って押さえて跳ねかけて。

翁2 戦は花と乱れ来て、烏鷲(うろ)にたとえた白と黒、夜と昼との区別なく、見とれるうちに斧の柄も、自然に朽ちて果てるだろう。

エミ おいおい、お前ら頭が渋滞か？

翁 今や国は混乱の真っ最中。ここからは遠くはなれているが、一心により碁勢を見抜く眼力で、その有様をありありと目の前に見せようぞ。

ナレーション と、覗き込めば、一刷けかかる霞も、麓に吹きおろす春風の、風のまにまに晴れ渡り、春の日数は碁盤の上の石の数ほど増していった。

対局が始まった。

積み重なった時間が盤上に溢れる。

それは「秒読み」「棋譜」として読み上げられる。

その様子を男と女が大盤で解説している。

以下、A…「国性爺合戦」 B…「大盤解説」 C…「棋譜@タイム

ズ」のシーンは並行して演じられる。

◎A…国性爺合戦

翁二人 若葉も末の深緑に、晴れ行く雲のあいだから、「これこそ南京の雲門
関なり」と名乗り出たホトトギス、幔幕（まんまく）高く張り巡らし、卯の
花匂う垣根越し、今年もはや夏のなかばである。

呉三桂（エミ） 四方三十里に逆茂木を引き、関の大將は左龍虎、右龍虎、三
十余騎を従えて。

翁 兜の星を輝かせ。

呉 太鼓を打って乱調子。

翁 鶏の鳴きまね。

呉 し、

翁 よう、

翁二人 とも。

ナレ 門は開かぬその意気込みに、剣は夏野のススキを乱し、火繩は沢の螢の
よう、数限りなく明滅するが、要害きびしい関の戸は、鳥一羽たりとも通さ
ぬほどである。

国性爺 日本育ちのこの国性爺、たとえこの関の戸が鉄石で固めてあろうとも、
押破って通ること、童が障子一枚破るのよりもたやすいが、軍中の眠気さま
しに、我が国、文治のころ、武蔵坊弁慶が、安宅（あたか）の関守をあざむ
いた例にならってみせようか

ナレ と、軍兵たちにめくばせして、

国性爺 そもそもこれはリ山の麓、楊貴妃の御廟所大真殿再興勧進の大行者、
勧進帳を聴聞なすゆえ、勧めに応じたまえ、関守殿

ナレ と、軍勢の姓名しるした巻物一卷取り出し、味方の勝利、敵の調伏念じ
つつ、声高らかに読み上げる。

国性爺 ソレよくよく考えてみるに、韃靼逆徒の秋の月は、暴虐無残の雲に隠
れ、生死定めない長い夢から、醒めるような様子も見えない。さてもその昔、
帝がおいでになった。その名を玄宗皇帝と申し上げ、寵愛の王妃に死に別れ
たその恋慕の情やみがたく、涙にむせぶ思いを、今一度思い返して大真殿を

建立された

これほどの霊場の、跡の絶えるのを悲しんで、戦術の道士の後裔、諸国を勧進する

一戦合戦なす連中は、敵方では首を矛に貫かれ、味方では大勝利の勝どきを揚げるであろう。帰命稽首（きみまうけいしゅ）うやまつて申す。

ナレ と、天にも響けと読み上げた。

翁 関の大將右龍虎左龍虎、さては国性爺か、飛んで火にいる夏の虫じゃと。

呉 梢に蟬のわめくよう、うってかかれば。

翁 につこり笑い。

国性爺 ハンカイ流は珍しくない。門をやぶるのは日本の朝比奈流じゃ、それ見ろ！

ナレ と、貫から逆茂木まで押し破り、向かって来る奴たたきふせ、逃げる奴は掴んで人つぶて。左龍虎右龍虎を討ち取って、無事に月日も過ぎて行く、碁盤の上にも石の数。

翁二人 ふえて秋風吹き渡る。

ナレ 霧の晴れ行く山城には、韃靼軍の大將海利王が立て籠り、前は岸壁、後ろは海、要害堅固を頼みとする。その油断をば見すまして、夜討ちをかける国性爺、うち乗った馬のくつわを締め、月の出前に乗り進み、シンシンリンリンズズズズと、掘ぎわ近くまで攻め寄せてから、百千もの高提灯を一度にパツと立てた有様は、まるで千世界の千日月を一度に見るようで、城中の軍兵は、寝耳に水とあわてふためき、兜を脛に当て、鎧はさかさま、馬を背中にしよいこんで、オオ オオ オオ オオ オオ、大手の門を押し開いて切つて出れば、寄手の軍勢、ほら貝鳴らし鉦たたき、ドツとときの声を挙げる。大將は団扇（だんせん）を手に取って、ヒラリヒラヒラヒラ閃かし、

呉 俱利伽羅谷の逆落とし。

ナレ 八島の浦の浦波の寄せくるように勢いも強く寄手は揉み立て切り立て、さしもの敵も命からがら、城中さしてしりぞいた。

ころはよしと夕闇に、日本秘密の焙烙火矢（ほうろくびや）、打って放てばその響きは、須弥山も崩れんばかりの激しさである。楯も櫓も何もかも、煙を上げて燃えさかる。その有様は、まるで項羽に焼かれて焦土と化したカン

陽宮のようである。

国性爺は勝どき挙がる中を、馬の手綱を引き締めて、輪乗りかければクルクルクル、クルリクルリと乗り回し、めぐる月日は正直なもの、十月ともなれば、時雨の一渡り、濡らして通る丘のあたりに、棟門高く造りなした城郭は、これも国性爺が乗っ取った福州の長樂城。軒の臺はキラキラと、玉をいろどる初あられか、みぞれまじりの有荒らしの吹いてくるその上に降り積もって、塀も櫓も埋もれる、雪の眺めのおもしろさ。

そのほかミン州健州諸国の府、三十八カ所攻めとって、太子のおいでを待つように、所々に付け城を築き、兵糧を置き軍兵こもらせて、天下に挙げるその威勢、今まのあたりあらわれて、手に取るように眺められた。

◎B…大盤解説

男 この一手、ここで黒が打ったこの一手が、この場合の好守なんですネ。

女 ほう。

男 こういうとこへ入っていくのは、非常に苦しいんですけども、おー、こういうところでうまい手を打つのをね。

女 ええ。

男 サバキっていうんですね。

女 サバキ。

男 ええ。

女 はい。

男 相手のこういう強い模様のところでは何か、(笑って)「一仕事する」というね(笑う)そういう、うー、イメージでしょうかね。

女 はい。

男 黒が、もしこういう風にきましたらね、これ、非常に厳しい。白が、こうやって、

女 はい。

男 (黒を置き)これがね、おつきいんですよ。

女 はあー。

男 これが白から打つときは、こうじゃなくて、ここへ打つ手が一手ですね。

女 そこまでいけるんですか。

男 こうやって、こういう形になる。

女 はあー。(白を置いて)全然違いますね。

男 はい、出入りがね。ここへこすむと、ま、将来また、ここへまたこすむんでね。

女 はい。

男 つながっていかれます。これ15目以上の手で。

女 ああー。

男 はい。中央はこの切りと出が見合で黒は安泰ですから、

女 安泰で、

男 もうこの時点では黒のリードははっきりしている

女 黒のリードははっきりしている、というわけですね。

男 はい。(いきなりの告白)これで勝たなかったら僕はあなたをあきらめます。

女 え…。

間

女 はい。

男 このまま勝ちきるかと思われましたが、

女 はい

男 終盤に

女 そうですね

男 ドラマが

女 はい

男 待っていたんですよね。

大盤をどんでん返し、すると終盤の局面に。

女 こちらが、もうダメ詰め

男 そうですね

女 時期ですが

男 はい

女 今は白が

男 白がここへダメをつめて、はい、ま、これはもう手入れしてくださいよ、
といたんです

女 はい

男 なんとこれで黒はここへ

女 ここへ抜いて

男 抜いて打ってしまう

女 はい

男 そして、こう、先手で

女 お、(黒を置き)真ん中に(白を二個とりながら)事件ですか。

男 はい。こう打たれて。

女 はい。

男 住み合いが逆転してしまったんですね。

女 これはあ

男 この黒がとられてしまう。

女 はい。大変なことがおきてしまいましたね。

男 はい。

女 えー。

男 はい。

女 と、その挑戦者の226手目を挑戦者が打った瞬間の様子を間近で見ている
た方にお話を伺っています。この対局で記録を担当していた田中エミ二段で
す。

田中エミ二段 もう、終局かなっておもってたんですけど、226手目を打た
れたときに、もう、あーって、そっかー、っていうー、感じで、投了でした
ね。も、すぐ、すぐ投了でした。

女 この局面ですが、もう一度くわしく

男 はい

女 お願いします。

男 まあ、名人はこれ、手抜きで手がないと、まあ思い込んでたんですね。

女 はい。

男 まあ、例えばこんなふうにつめると

女 と。とれますね。

男 はい。

女 はい。

男 これは2対1で黒一手勝ちですね。

女 はい。

男 完全に。はい。ここはもう、どこいっても。これじゃ意味がないですし。

女 はい。

男 はい。

女 なぜか、ここへ行く手だけが

男 (笑う) 盲点に

女 盲点になってたんですね。

男 ま、思い込みですかね、仕方ない…

女 思い込んでましたね

男 …ですけど

女 だから、これもし黒がまあ、

男 もしこれで

女 はい、こう手入れしてますと

男 どうなって

女 はい、盤面十目、黒三目半勝ち、

男 はあー

女 になってますよね。

男 最後の、一手でしたね。

女 はい。

男 こう打って。

女 で、これで。

男 はい、こう打たれて。

女 これ打って、これで投了されました。
男 はい。
女 それでは、終局の様子をご覧ください。

終局した二人、ぼそぼそと対局を振り返っている。

女 終局は226手で白番挑戦者の中押し勝ちとなりました。
男 この一勝の差はおつきいですね
女 おつきいですね
男 ですね。
女 ですね。

◎棋譜@タイムズ

一手ごと棋譜のように、タイムズに流れる時間が読み上げられる。
「時間」「車種」「カラー」の順に。
以下、発語される言葉の素材である。

■車のカラー

ホワイト、ホワイトパールマイカ、ウォームグレーパールマイカ、クリスタルパールマイカ、ホワイトパールクリスタルシャイン、クリスタルシルバー、スプラッシュシルバー、ウォームグレー、アーモンドシルバー、ブルー、ブルーイッシュシルバー、ブルーイッシュグレー、グレーマイカ、ヤマトイリュージョングレー、ダークグレーマイカ、ミディアムプラチナグレー、グレーメタリックパール、イエローシルバー、グロリアスグレーモリブデン、シルバーメタリックグラフィイト、ダークグレーマイカメタリック、ブラック、ブラックマイカカラークリヤー、ダリアブルー、フリーボンレッド、アンティックブロンズ、グリーンメタリック、ゴールド、ワインレッド、シルバーレッド、ダークレッド、ディープレッド、マリーン、ダークグレイッシュブラウンマイカ、スパーリングゴールド、キャパメタリック、ベージュパールクリスタルシャイ

ン、スーパーブライトイエロー、グリニッシュイエローマイカ、スーパーブライトイエロー、ゴールドメタリック、カントリィオリーブ、ミズリーグリーン、ルーミナスライムグリーン、シャードグリーン、コテージグリーン、ヨーロッパアンペールグリーン、グリーン、グリーン、グリーン、モスグリーン、ターコイズ、ターコイズ、ダークターコイズ、ブルー、ブルー、ディープブルー、モナコブルー、モントリオールブルー、メルボルングリーン、コンコルドブル、バッキンガムブルー、モンテカルロブルーパール、アトランティスブルーパール、サイクロンブルー、ボルテージブルー、マイアミブルー、マーメイドブルー、侍ブルー、マリッジブルー、マタニティーブルー

■車種

ホンダ…アコード、インサイト、インスパイア、N-BOX、エリシオン、オデッセイ、CR-V、CR-Z、ステップワゴン、ストリーム、ゼスト、バモス、フィット、フリード、ライフ、スズキ…アルト、MRワゴン、ジムニー、パレット、ラパン、ワゴンR、SX4、エスクード、キザシ、スイフト、スプラッシュ、ソリオ、ランディ、エブリ

リー

トヨタ…カムリ、カローラ、クラウン、センチュリー、プリウス、プレミオ、マークX、86レビン、アベンシス、サクシード、プロボックス、アイシス、WISH、ヴェルファイア、ヴォクシー、エスティマ、シエンタ、ノア、ハイエース、IQ、アクア、iQ、ヴェイツ、パッツ、ポルテ、ハリヤー、ランドクルーザー、ダイナ、レクサス

スバル…レガシー、エクシガ、フォレスター、BRZ、インプレッサ、WRX、トレジア、ルクラ、ステラ、プレオ、ディアス、サンバー

日産…キューブ、マーチ、ルークス、モコ、オットー、エルグランド、セレナ、ウイングロード、キャラバン、バネット、スカイライン、フェアレディZ、ムラーノ、エクストレイル、デュアリス、シーマ、フーガ、ティアナ、シルフィ、ラティオ、

三菱…ミラージュ、i-Miev、RVR、アウトランダー、パジェロ、デリカ、コルト、ギャラン、ランサー、プラウディア、デイグニティ、eKワゴン、トッポ、

パジエロミニ、
マツダ・デミオ、ベリーサ、アクセラ、アテンザ、ブレマシー、MPV、ビアンテ、CX-5、RX-8、ロードスター、キャロル、AZワゴン、タイタン、ボンゴ、スクラム、
ダイハツ・ミラ、ムーブ、コンテ、タント、アトレー、コパン、ブーン、アルティス
日野・レンジャー、エルフ、いすゞのトラック

終局後の二人、ぼそぼそと対局を振り返っている。

と、碁盤が輝きだす。

イズミ フブキ、エミ、碁盤が輝いてる。
フブキ ホントだ、きっとあれはワープの出口よ。
エミ 帰れるのね、ついに、ついに帰れるのね！

エンジェルズたち喜ぶ。

翁 愚かなことよ。目の前に見えているが、みな百里もへだたった先のことじや。お前たちが時の狭間に入って一刻しかたっておらぬと思っても、もうそのあいだに五年の春秋を送り、四年にそれぞれ四季の合戦を見ていたのだとは知らぬであろう。そうこういつているうちに月日はたつ。お前たちの身の様子を水鏡によくよく写してみるがよい。水清ければ影も清い。お前たちの忠誠厚き心に感じ姿現わす、この我はアキラ。

翁2 われはバズライトイヤー。

アキラ またの名を神のおもちゃ。

バズ 住処は月の中にある。

アキラ 事の道理を知る目には、上弦の月、白い月。

バズ 下弦の月、黒い月と見るけれど。

アキラ 衆人は心が乱れているから、この白月黒月を、盤上乱戦の碁石とみるであらう。

バズ また水中に遊ぶ魚は。

アキラ 釣り針ではないかと疑い。

バズ 雲上を飛ぶ鳥は。

アキラ 弓の影ではないかと驚く。

バズ 月の光は地にくだって、月そのものがくだるのではなく。

アキラ 水蒸気は登っても、河や海がのぼってしまいうけではないから。

アキラとバズ 満ちても欠ける影があったなら、欠けてもふたたび満ちること

のある月をみよ。しばらくの間は雲に隠れても、ついには晴れて照り渡る。

ナレ と、仰せられる御声は松吹く風のように、その御姿も松山の峰の嵐の吹く

ままに、いつか消え失せてしまわれたのでした。

呆然としているエンジェルズ。

クリス 姉さん、あたしちよっとだけ大きくなったみたい…。

イズミ 見て、もうすぐワープが終わるわ…。(碁盤、さらに輝きをます。)

フブキ 時の谷間を跋扈する。

エミ 胸の谷間にご用心。

イズミ 嘘の谷間に *bitch* あり。

クリス 日本のどこかに私を待ってる人がいる。

フブキ さあ、みんな！かえるわよ！

四人 よーい、どんぶりー！

エンジェルズ、光に包まれる。

女の声 「駐車券をおとりください。」

◎お通夜の日

男 お通夜なんですよ、おじいちゃん。92歳。まあ、正直、なにが原因で死んだかわからないんですけどね、この辺に住んでたら。おじいちゃん一人だったし。いや、マンションに引っ越してもらってよかったですよ。家出

るのいやがってたんですけどね、せめて管理人さんいるとこに住んでもらおうってことになったみたいで。結構、もめてたみたいですけどね。近くに住んでる人いないから。結局、教えてくれたの管理人さんだから、結果よかったですと思いますよ。

ここ駐車場たぶんいつもガラガラなんでしょうけどね。面白いっすね。満車。これ全部うちの親戚の車ですよ。満車、うちの一族で満車。

あの品川ナンバーのブルーバードがうちのオヤジのでしょ、習志野のステツプロゴンが今、千葉にいる兄貴の車です。子供らみんなつれてきたんかな。あのベンツは多分静岡のおじさん、おやじの弟なんですけど、金持ち。え、富士山。富士山ナンバーって今あるんすか。なんか富士山ナンバーのベンツって、ガラガラですよ、テツペン感でてますよね。で、あのなにわナンバーが、多分いとこのだとおもうんですよ。えー、車で来たんだ、しかも軽で来たんだ。元気だな、あいつ。あのパジェロ誰んだろ。ちよまって、ㄥってナンバー初めて見た。あれでしょ、属にいうヤンキーナンバー。うわ、基地あるからですよ。こわ。僕、駐車場しらべるのにナビみてたら、この辺やたら野球場多くないすか。やっぱ基地、関係あるんすよね。やっぱ。隣に停めちゃった。あれ、車も治外法権なんすよね。やべ、こすられたらどうしょ。保険とか入ってんすかね。やべ、こすられたらどうしょ。出そうかな、いとこに変わってもらおうかな、やっぱヤンキーナンバーのパジェロに対抗できんのか、なにわナンバーのワゴン車すよね。

「フェイクエンジェルス、宇宙(そら)へ」

闇。時間も空間もない。すべての始まりの前、嘘の時間。

時折、ピシリ、ピシリと木を打つ石の音がする。

闇の中から声―

イズミ ここはどこ。

フブキ わかんない。

女の声 ここはおうち。

クリス おうち？ここが？

女の声 ここはすべてが始まりを待つ所。無秩序な秩序。嘘の時間。そして嘘の場所。

フブキ みんないるの？エミ？

エミ 私はここよ。

女の声 臭う、臭うぞ。

イズミ え？

女の声 逃げてきたのね。逃げる女は決まって臭い。

四人 (クンクン)

女の声 汗臭い…。(言われながら四人はいちいちぎわつく)ほこりくさい…。

イカ臭い…。泥臭い…。嘘くさい…。酒臭い…。乳臭い…。はんかくさい…。

四人 (クンクン)

女の声 心配しないで。和子も直子も臭かった。

四人 私たち、うちに帰りましたかっただんです。

女の声 お帰りなさい。Bitchたち。

フブキ 誰、あなたは誰なの。

女の声 心配いらぬ。あたしも bitch だ。

と、突然明るくなるが、エンジェルズの姿はない。

以降、舞台は定期的に明滅を始める。

明るくなるたび、舞台は脈絡なく変容し、秩序と無秩序を繰り返す。

四人の姿は、そのたび現れたり消えたり。

エミ ねえ、私たちはいるの、いないの。

女の声 いるし、いないわ。

イズミ 生きてるの、死んでるの。

女の声 生きてるし、死んでるわ。

クリス これは嘘なのホントなの。

女の声 嘘だし、ホントだわ。ここでは、どちらでもないし、どちらでもある

の。誰かが私たちを見つけて、そう決めるまではね。
フブキ なぜなの。

女の声 bitch は世間のルールに従わないの。それは、あたしたちがとてもとても小さな存在だから。

クリス でも姉さんは大きいわ。

エミ クリス！

女の声 大きなあなたも。ちっぽけなのよ。気づくのよ、自分のティッポケさに。

エミ ティッポケ。あたしティッポケなの。

女の声 そうよ。だからアナタは自由自在。ティッポケフリーダム。ダム、ティッポケフアツキンフリー。もう誰もアナタたちを捕まえておくことはできない。

フブキ だめ、全然わからない。

女の声 心配いらぬ。もうすぐ、もうすぐ科学があなたたちに追いつくわ。

そして大分遅れて宗教が追いつくわ。

イズミ わかる？

クリス わからない。

女の声 そうしたら、優しく抱きしめて。

フブキ ちょ、フラン！

エミ 無理！

女の声 そしてミルクをあげなさい！

と、宇宙が揺らぐ「ぐらりぐらり。」

イズミ 揺れてる！？

エミ どうして、嘘の時間と嘘の空間が揺れるの。

女の声 賢い質問ね。

フブキ さすがフラン。

エミ ありがとう。

女の声 ハアハアハアハア、暑く…なって…きたの。アナタたち…が…デタラ

：メに：動き回ってくれたおかげ。もうすぐよ：もうすぐ膨張が始まるわ！
クリス はあ？

女の声 宇宙！

イズミ はあ？

女の声 新しい宇宙！

フブキ なにいったんの。

女の声 暑い、暑い、ああ暑い！

エミ ちよつとやばいんじゃない。

女の声 お脱ぎなさい！ bitch たち、ベルトが千切れるまえに！お脱ぎなさい！

い！ボタンが弾け飛ばまえに！

四人 はああ？

女の声 産まれるー！

と、男の声。

男の声 「なにものかが攻めてきました。」

明るくなると碁盤を高く抱え上げた男の姿。

エンジェルズたちは、静止している。

男 宇宙が始まって、最初の時代はプランク時代と呼ばれています。この時代には我々が考えうる全ての法則が通用しません。しかし、我々がどこからやってきてどこへ去っていくのか、この問いについてのすべての答えがこの時代に詰まっています。急がなければなりません。なんとか答えを見つけなければなりません。なにしろ、プランク時代は10のマイナス43乗秒しかないのです。その答えは、ある物語の中にありました。日本人が大好きな物語、忘れ去られた、義経の物語の中に。

「奥州落ちの義経を助け」

「義経を逃した忠信は、」

「静かに眠っておりました。」

「碁盤忠信」

男、碁盤を振り上げ、碁石を投げつけ大立ち回り。

男 エーイ、エーイ、エーイ：

「夜半、突如、太刀風をうけて碁石に乱れが生じ、」

「忠信は敵の襲来を察知しました。」

「とっさに碁盤をとった忠信は、」。

「イデこの碁勢を受けてみる！」

男 と、頭を出せばゴツン、面を出せばバシリ、打ちつけ打ちつけ脳味噌も頭の鉢も打ち砕かれ、敵は粉微塵となって消え失せた。

祭り囃子が聞こえてくる。

男 これは、もう100年も演じられていない忘れられた物語。

しかし、奥州藤原氏の忠臣であった忠信のこの物語は、今もそのクニでは愛され、毎年、碁盤を抱えた忠信の姿をかたどった山車が町を練り歩きます。

忠信、静止する。エンジェルズ動き出す。

クリス （碁石を拾い上げ）これなにかしら？

四人、散らばった碁石を拾い上げている。

エミ わかったわ、これはきつとヒッグス粒子よ。

フブキ （エミをちらっと見るが）碁石よね。

イズミ 碁石。

エミ　ねえ、きいてこれは、ヒッグス粒子：

クリス　なんで、こんなところに基石がちらばってるの。

フブキ　わからん。

エミ　これは、ヒッグス粒子よ。最近、発見が確実視された新しい粒子よ。

イズミ　（話半分である）最近つうか、今よね。

クリス　うん。

エミ　これは、デタラメに動き回っていた素粒子に質量を与える粒子なの。

クリス　なんか、これ集めんの楽しくなってきた。

エミ　これで素粒子の動きが鈍くなり宇宙が冷えていくの。

三人、まるで潮干狩りのように基石を集めている。

イズミ　アタシ、黒ばっかりー。

クリス　腹黒いから？

イズミ　だっはー！

エミ　このヒッグス粒子と右巻きニュートリノには、質量が存在：

フブキ　（エミを指し）ニューハーフ

エミ　ニューハーフじゃないって。

フブキ　左巻き。

エミ　左巻きでもない。

フブキ　㊦ラン。（基石をぶつける）

エミ　ヒッグス：

イズミ　㊦ラン。（基石をぶつける）

エミ　ヒッグ：

クリス　エーフライン。（基石をぶつける）

エミ　ヒッ：

フブキ　エフライン（基石をぶつける）

クリス　エーフライン（基石をぶつける）

三人　エフラン！エフラン！エフラン！エフラン！（基石をぶつける）

エミ　ヒー

フブキ うるさい！

エミの後ろから光が指す。

まぶしそうに彼方を見る四人。

イズミ 燃えてる。なにか燃えてる。

女の声 星よ。星が産まれたわ。原子の崩壊のエネルギーが星を産んだの。

エミ 太陽。太陽が生まれたのね。

クリス エミ：（まぶしそうに）エミ：なんだかキレイに見える。

エミ （微笑み）原子が崩壊したときに生まれる力が原子力、女子が崩壊したときに生まれるのが女子力よ。

フブキ エミ…。

エミ おいで、あんたたち。こっちはなんだかとおつても楽チンよ。

クリス エミが：太陽を食べている…。

イズミ 日食…。

フブキ 見て、太陽から何か飛んでくる。

ソルバルウが「おーまーえの、かーちゃん、でーべーそ」といいながら飛んできた。

ソルバルウ おかえりなさい、*bitch*たち。私の名はソルバルウ。地球の言葉で「太陽の鳥」。

ありがとう、ピッチたち。この時間が最も短く、そして一番貴重な時間。デ
タラメで豊穡な時間。

それも、もう終わりです。次の時間が来るまで、少しだけ、待ちましょう。
もう、少しだけ、よーい、どんぶり！

全てが静止した。

ソルバルウ いつのまにか、カウンターは999万9990点を指したままス

トップしていました。

彼が敵を倒すたび、ファンファーレはまだ鳴り続けています。彼はボタンからゆつくりと手を離しました。

私は次々と撃墜されていきました。

私の名は、ソルバルウ。地球の言葉で「太陽の鳥」。

6時間、100円。(客に)安心しなさい。もうこんなに長い場面はありません。この時間が、一番長く、そして一番安い時間です。

やがて、画面が変わりました。

ハイスコアの一覧です。一位、9999990。その横に名前の入力を促すカーソルが点滅しています。彼は、レバーを握りいつものように入力しました。

タンタタンタンタン。

男 U・M・A。

ソルバルウ 謎の未確認生物を意味するイニシャルを。

皆さん。街にひっそりと散らばるこのU・M・Aのイニシャルを見かけたら、今も戦う彼のことを少しだけ思い出してあげてください。

彼は、立ち上がると時計を見ました。9時25分。彼の住む家に帰って着替える時間はない。行こう、このまま。時給950円のファミリーマートへ。

「明日、暑くなるって。昨日言ってたよ。」

「そうか、今日暑くなるんだね。」

「違うよ、明日暑くなるんだよ。」

「暑くなるって、昨日言ってたんでしょ。」

「そうだよ、明日、暑くなるんだよ。」

「昨日の明日は今日のことでしょ。」

「今日は、明日じゃないよ。」

「明日は昨日の今日なんだよ。」

「明日は急いでもこないよ。待つんだよ。」

ソルバルウ 『時間です。』

「雑踏」

そこは町に点在する雑踏。

熱に浮かされた雑踏。

あるいは首相官邸まえの「サイカドーハンタイ」かもしれない。

雑踏は音になる。

「タンタタンタンタン」(うっそーうっそそー)
「カンカカンカンカン」(うっそーうっそそー)
「ザンザンザンザン」(うっそーうっそそー)
「バンババンバンバン」(うっそーうっそそー)
「ビービービービー」(うっそーうっそそー)
「ドンドンドンドン」(うっそーうっそそー)

人、やがてやってきては群れ、集い、連れ立ってまた去っていく。

あるいはフラッシュモブ。あるいは何度も熱に浮かされた宇宙。

繰り返し、繰り返し。続く、永遠に思えるほどに。

雑踏が奏でる騒音の中。

「私は」「母を」「待っています。」
「うっそーうっそそー」
「私は」「あの人を」「待っています。」
「うっそーうっそそー」
「私は」「電話を」「待っています。」
「うっそーうっそそー」
「私は」「良い知らせを」「待っています。」
「うっそーうっそそー」
「この夏」「元気が」「待っています。」

「うっそーうっそそー」
「私は」「更新が適用されるのを」「待っています。」
「うっそーうっそそー」
「私は」「続きを」「まっています。」
「うっそーうっそそー」
「私は」「いつまでも」「待っています。」
「うっそーうっそそー」
「私は」「届くのを」「待っています。」
「うっそーうっそそー」
「私は」「10時を並んで」「待っています。」
「うっそーうっそそー」
「私は」「電車がくるのを」「待っています。」
「うっそーうっそそー」
「私は」「あなたを」「待っています。」
「うっそーうっそそー」
「私は」「あの町で」「待っています。」
「うっそーうっそそー」
「私は」「着替えて」「待っています。」
「うっそーうっそそー」
「私は」「新しい出合いを」「待っています。」
「うっそーうっそそー」
「私は」「大きくなるのを」「待っています。」
「うっそーうっそそー」
「私は」「予定をあけて」「待っています。」
「うっそーうっそそー」
「私は」「始まるのを」「待っています。」
「うっそーうっそそー」
「私は」「全てが終わるのを」「待っています。」
「うっそーうっそそー」
「私は」「お誘いを」「待っています。」

「うっそーうっそそー」

「私は」「飼い主を」「待っています。」

「うっそーうっそそー」

「私は」「いい子で」「待っています。」

「うっそーうっそそー」

「私は」「出番を」「待っています。」

「うっそーうっそそー」

と、戦いを終えたUMA、ズボンを気にしながら家に帰ってきた。

男 ただいま。

みんな おかえり。

時間、静止する。

おしまい